

E

オーディオ

AUDIOメニューから再生(視聴)する

ソースを選ぶ	E-2
オーディオをON／OFFする	E-3
オーディオの音量を調整する	E-3
オーディオ画面／全画面時計表示に切り換える	E-3
ディスクを挿入する／取り出す	E-4
CDを聞く	E-4
CD再生画面のタイトル情報について	E-6
DVDを見る	E-7
DVDの設定をする	E-10
再生言語の設定	E-10
ダイナミックレンジ圧縮の設定	E-12
視聴制限レベルの設定	E-12
TVを見る	E-13
TVの設定をする	E-18
ラジオで交通情報を聞く	E-19
FM／AMを聞く	E-20
iPodの接続	E-23
iPodのミュージックを聞く	E-24
Music Rackの音楽を聞く	E-26

BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て

BLUETOOTH Audio 機器を再生するための準備	E-28
登録した機器の一覧を見る	E-29
本機のBLUETOOTH情報を確認する	E-29
BLUETOOTH Audioを聞く	E-30
SDカードを挿入する／取り出す	E-32
WALKMAN [®] ／USBメモリーを本機に接続する	E-33
SDカード／WALKMAN [®] ／USBメモリーの音楽を聞く	E-33
SDカード／WALKMAN [®] ／USBメモリーの画像を見る	E-36
SDカード／WALKMAN [®] ／USBメモリーの動画を見る	E-37
外部機器の映像／音声を視聴する	E-38
外部機器の接続について	E-38
外部機器の映像を見る／音声を聞く	E-39
オーディオ設定をする	E-40
AUDIOメニューをカスタマイズする	E-44

AUDIOメニューから再生(視聴)するソースを選ぶ

1 AUDIOを押す。

⇒AUDIOメニューが表示されます。

※再生中のオーディオ画面に切り換わる場合があります。この場合は、再度 **AUDIO** を押してください。

2 再生(視聴)するソースを選んでタッチする。

ページ送り／戻しをします。(◀/▶が表示されているときは、左右にドラッグ／フリックしてもページ送り／戻しができます。)



お知らせ

- **カスタマイズ** をタッチしてAUDIOメニューのカスタマイズができます。[E-44]
- 走行中はドラッグ／フリック操作ができません。

オーディオをON / OFFする

- 1  を押す*¹ / 音量ノブを押す*²。
⇒オーディオのON / OFFが切り換わります。

お知らせ

- CD録音中の場合、CDソースをOFFにしても録音は継続されます。
- BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、オーディオをOFFしたり本機の電源を切ったりしても、再生を継続するものがあります。電池の消費などが気になる場合には、機器側で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

オーディオの音量を調整する

- 1 オーディオ再生中に  /  を押す*¹。
オーディオ再生中に音量ノブを回す*²。

音量表示
(音量調整中に表示)



オーディオ

お知らせ

- オーディオOFFのときは音量調整できません。
- DVD、BLUETOOTH Audio、VTR、リアモニターHDMI、HDMI*³ソースは個別に音量調整できます。

消音(ミュート)するには

 (オプションボタン)にミュート機能を設定(設定H-29)している場合は、 を押すと音を消すことができます。消音(ミュート)を解除するには再度 を押してください。

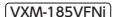
オーディオ画面 / 全画面時計表示に切り換える

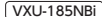
地図画面をオーディオ画面に切り換える

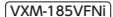
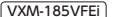
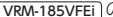
- 1  を押す。
※オーディオOFFの場合はAUDIOメニューが表示されます。

オーディオ画面を全画面時計表示に切り換える

- 1 オーディオ各ソースの画面で  をタッチする。
※画像 / 映像を再生するソース、TV、HDMI、VTRソースの場合は切り換えることができません。
※オーディオ画面に戻すには、画面をタッチし(⇒  ボタンが表示)、 をタッチしてください。

* 1...     

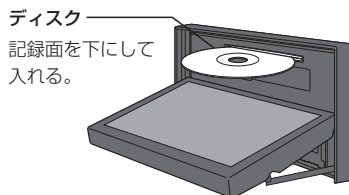
* 2... 

* 3...    のみ

ディスクを挿入する／取り出す

ディスクを挿入する

- 1 → **OPEN** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 ディスク挿入口にディスクを挿入する。
※ 挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。



ディスクを取り出す

- 1 → **DISC EJECT** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 2 ディスクを取り出す。
- 3 を押して、ディスプレイを閉じる。

を押すと表示される画面



DISC-IN^{*1} : ディスク挿入済
NO-DISC^{*1} : ディスク未挿入

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気をつけください。
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

* 1… (VXM-185VFNi) (VXM-185VFEI) (VRM-185VFEI) のみ表示

CDを聞く

1 ディスクを挿入する。 上記



お知らせ

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。(自動録音／手動録音は変更できます。 F-4)
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから **CD** をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

CDを聞く

選曲する

1 曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

- ① ⓘ をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

MP3 / WMA ファイルを再生中の場合、
再生しているフォルダ内のトラック
リストが表示されます。

前の / 次のフォルダを
再生する* 1

フォルダ◀ / フォルダ▶ をタッチ
する。



ⓘ : トラックリスト表示にします。

♪ : タイトル情報表示にします。

フォルダ◀ : 前のフォルダに戻します。*1

フォルダ▶ : 次のフォルダに進めます。*1

早戻し / 早送りする

- 1 ◀◀ / ▶▶ を押し続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※ ◀◀ / ▶▶ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

リピート / ランダム / スキャン再生する

- 1 再生モード をタッチする。
- 2 リピート / ランダム / スキャン を選んで
タッチする。

※ リピート はタッチするたびに、リピートトラック /
リピートフォルダ*1 / リピート解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
リピートフォルダ*1	選曲中のフォルダ内で繰り返し再生
ランダム	音楽CD再生時 : ディスク内の曲をランダム再生 MP3 / WMA再生時 : 選曲中のフォルダ内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約 10 秒を再生し、次の曲に移る

* 1...MP3 / WMA 再生時のみ有効です。

* 2...[VXM-185VFNI] [VXM-185VFEI] [VRM-185VFEI] のみ

CDを聞く

CD再生画面のタイトル情報について

本機は挿入された音楽CDのタイトル情報(トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル分類)をCD再生画面に表示することができます。

本機はGracenoteデータベースを持っています。音楽CDが挿入されたとき、本機データベースとの照合を行い、ヒットすればCD再生画面にトラック名などのタイトル情報を表示します。



タイトル情報 オンライン検索します。

お知らせ

- 全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
- 音楽CDにCD-TEXT 情報がある場合、タイトル情報はCD-TEXT 情報で表示されます。(ジャンルは空欄となります。)
※市販されているほとんどの音楽CD にはCD-TEXT 情報は入っていません。
- 音楽CDにCD-TEXT 情報がなく本機データベースにもヒットしなければ、アーティスト名／アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(録音曲選択画面では“トラックXX”、XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。

タイトル情報が適切に表示されていない場合は、挿入したCDが新譜などのため本機データベースに情報が無い、または間違ったタイトル情報を取得してしまった可能性があります。

オンライン検索(☞下記)、またはパソコンを利用したデータベース更新(☞F-9)を行ってください。

オンライン検索をする

インターナビ・データ通信USBを使用して、オンラインでGracenote 音楽認識サービスより新タイトル情報を取得できます。

1 CD再生画面で **オンライン検索** をタッチする。

☞インターナビ・データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功すると現在挿入中の音楽CDのタイトル情報を取得します。

※タイトル情報を取得すると、CD再生画面および本機データベースのタイトル情報を更新します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に **中止** をタッチしてください。(タイトル情報更新中に **中止** は選べません。)

お知らせ

- 本操作によるオンライン検索はすでに録音した曲のタイトル情報の取得／更新はできません。すでに録音した曲のオンライン検索をするには☞F-10
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
 - ・ 接続しているインターナビ・データ通信USB の圏外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 発売後間もない新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報の検索結果が複数ある場合は、どのタイトル情報に更新するか選んでください。

DVDを見る

- 1 ディスクを挿入し(☞ E-4)、AUDIOメニュー(☞ E-2)から**DVD**をタッチする。
⇒再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。

再生操作ボタン

DVD再生中に**MENU**を押すと再生操作ボタンが表示されます。



お知らせ

ディスクによって、特定の操作を禁止している場合があります。この場合、再生操作ボタンをタッチしても実行できません。

早戻し／早送りする

- 1 **⏮**／**⏭**を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※**⏮**／**⏭**を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

停止する

- 1 再生操作ボタンの**■**をタッチする。

※再生中に**■**をタッチして停止した場合、再生を止めた位置をメモリーしているので、続きから再生できます。(ディスクによってはメモリーしません。)

DVD設定画面を表示します。

※DVD設定を行った場合、続き再生が解除される場合があります。



一時停止する／再生する

- 1 再生操作ボタンの**▶II**をタッチする。

※一時停止中に**▶II**をタッチすると再生に戻ります。

スロー戻し／スロー送りする

- 1 一時停止中に**⏮**／**⏭**を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※**⏮**／**⏭**を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

※VRモードのDVDではスロー戻しができません。

* 1... (VXM-185VFNi) (VXM-185VFEI) (VRM-185VFEI) のみ

DVDを見る

チャプター戻し／チャプター送りする

- 1  /  を押す。

画面表示を切り換える

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **タイム** をタッチする。

※タッチするたびに画面表示が切り換わります。
下記3通りの画面表示から選んでください。

- 再生時間を表示
- タイトル番号・チャプター番号を表示
- 画面表示しない

画面表示(再生時間表示の例)



好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **サーチ** をタッチする。

- 2 **切換** をタッチして、画面表示を切り換える。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)が切り換わります。

タイトル番号を入力	"TITLE : __/XX" を画面表示させる。
チャプター番号を入力	"CHAPTER : __/XXX" を画面表示させる。

- 3 **0** ～ **9** をタッチして、タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※画面表示が表示されている間に入力してください。

画面表示はしばらくすると消えます。消えた場合は再度操作をやり直してください。

- 4 **実行** をタッチする。

お知らせ

ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力した場合は実行できません。

リピート再生する

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **リピート** をタッチする。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)とともにリピート設定が切り換わります。

再生中のチャプターを繰り返し再生する	"CHAPTER REPEAT" を画面表示させる。
再生中のタイトルを繰り返し再生する	"TITLE REPEAT" を画面表示させる。
繰り返し再生しない	"REPEAT OFF" を画面表示させる。

お知らせ

- ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し／早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。
- ディスクによっては、リピート設定してもリピート再生しない場合があります。

音声言語／字幕言語／アングルを切り換える

1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **音声**／**字幕**／**アングル** をタッチする。

※タッチするたびに音声言語／字幕言語／アングルが切り換わります。

お知らせ

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り換えてください。
- ディスクによっては、再生操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り換えができないものがあります。その場合は、DVDメニューやDVD設定の言語設定で切り換えてください。

タイトルメニュー／DVDメニューを表示する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **タイトル**／**メニュー** をタッチする。

タイトル : タイトルメニューを表示

メニュー : DVDメニューを表示

タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 タイトルメニュー／DVDメニューでメニュー項目をタッチする。

※再生操作ボタンが表示されている場合は、**ボタン消** をタッチして再生操作ボタンを消してください。

※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。その場合は、画面にカーソル操作ボタンを表示させて操作してください。

再生操作ボタンとカーソル操作ボタン

DVD再生中に **MENU** を押すと再生操作ボタンが表示されます。

選択している項目を実行します。



メニューに切り換える前の再生画面に戻します。

再生操作ボタンを切り換えます。



操作 をタッチ

1つ前の画面に戻します。

再生操作ボタンを切り換えます。



カーソル操作ボタン

▲/▼/◀/▶ : 項目を選びます。

実行 : 選んだ項目を実行します。

ボタン表示を画面の左右に移動します。

DVDを見る

タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **タイトル**／**メニュー** をタッチする。

タイトル : タイトルリストを表示

メニュー : プレイリストを表示

※VRモードディスクにプレイリストが無い場合、

メニュー をタッチしてもプレイリストは表示されません。

2 リストから再生したいものを選んでタッチする。

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示します。

タイトルリスト表示(例)



タイトルリスト／プレイリストを切り換えます。

DVDの設定をする

※DVD設定をすると、設定内容によっては続き再生が解除される場合があります。

再生言語の設定

1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **言語設定** をタッチする。

2 音声言語／字幕言語／メニュー言語それぞれについて、言語を選んで設定する。

言語コードを入力して
再生言語を指定する

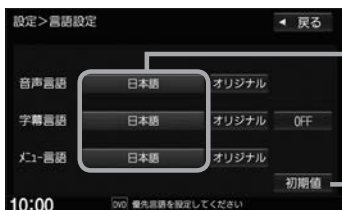
言語表示のボタンをタッチし、
言語コード(⏮ E-11)を入力して **決定** をタッチする。
⇒設定後、ボタンが設定言語名で表示されます。

ディスクで優先されて
いる言語で再生する

オリジナル をタッチする。

字幕を表示しない

OFF をタッチする。



言語表示

(言語コードで設定する場合にタッチ)

※ **オリジナル** または **OFF** に設定されている場合は“言語を選択”と表示します。

各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

- 言語コード入力するとき、入力した数字を修正するには **クリア** をタッチして数字を再度入力してください。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

DVDの設定をする

言語コード表

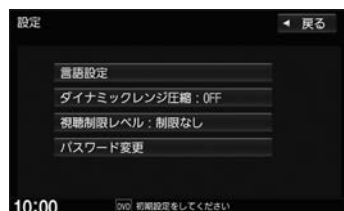
コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アプバシア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ベラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスラマ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC フロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラピュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

DVDの設定をする

ダイナミックレンジ圧縮の設定

本設定をONにすると、ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に、最小音と最大音の音量差を縮めて再生します。小さい音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **ダイナミックレンジ圧縮** をタッチする。



- 2 **ON** / **OFF** を選んでタッチする。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **視聴制限レベル** をタッチする。
- 2 設定したい視聴制限レベル(**レベル1** ~ **レベル8** / **制限なし**)を選んでタッチする。
- 3 視聴制限のパスワードを入力し、**決定** をタッチする。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
※パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

視聴制限のパスワードを変更する

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **パスワード変更** をタッチする。
- 2 “現在のパスワード” / “新しいパスワード” / “パスワード再入力” をそれぞれ入力し、**決定** をタッチする。

お知らせ

- パスワード入力するとき、入力した数字を修正するには **クリア** をタッチして数字を再度入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、“現在のパスワード”に“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限できません。

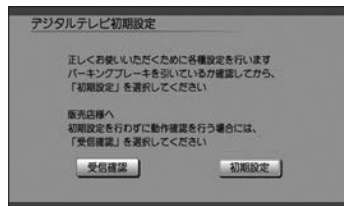
TVを見る

1 AUDIOメニュー(□ E-2)からTVをタッチする。

TVの初期設定を行う

TVを見るには初期設定が必要です。初期設定していない場合は初期設定画面が表示されます。

初期設定画面



1 初期設定 をタッチする。

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 をタッチする。

3 お住まいの都道府県を選んでタッチする。

※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。

- ・伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 東京都島部 をタッチ
- ・南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 鹿児島県島部 をタッチ

4 次へ をタッチする。

5 表示された地域を確認して、決定 をタッチする。

6 各チャンネル番号の放送局名を確認して、決定 をタッチする。

※各チャンネルに設定されている放送局を変更するには、▲／▼をタッチして、修正したいチャンネルにカーソルを合わせ、◀／▶をタッチして放送局を選んでください。

7 終了 をタッチする。

お知らせ

引っ越しなどで受信地域が変更になった場合は、初期設定項目の変更を行ってください。
郵便番号設定／県域設定／ホームチャンネル設定 □ E-18

緊急警報放送について

緊急警報放送(EWS : Emergency Warning System)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送(EWS)を受信したら、自動的に緊急警報放送に切り換わります

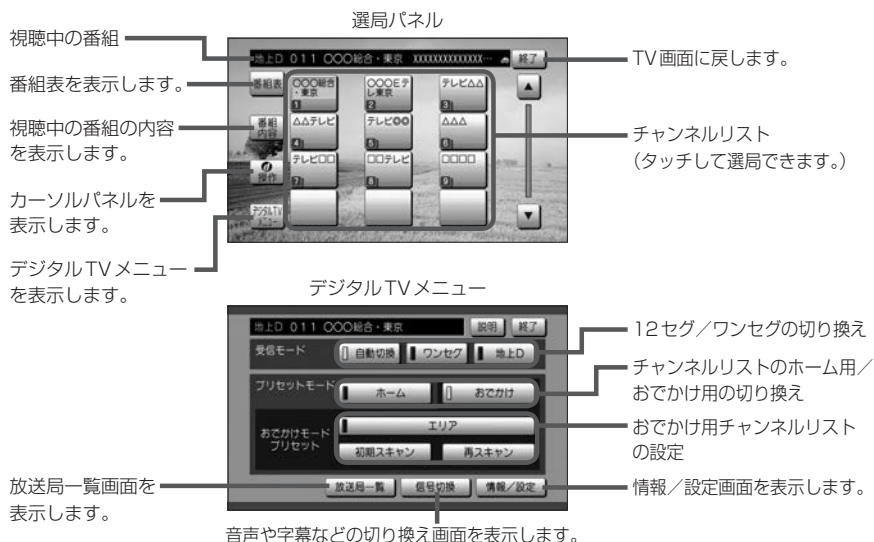
- ・緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- ・視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- ・走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- ・TVソース以外のソースを選んでいても緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り換わることがあります。

TVを見る

選局パネルとデジタルTVメニュー

TV視聴中に画面をタッチすると選局パネルが表示されます。

選局パネルで **デジタルTVメニュー** をタッチするとデジタルTVメニューが表示されます。



ホームモード/おでかけモードを切り換える

1 デジタルTVメニュー(☞上記)で、**ホーム** / **おでかけ** を選んでタッチする。

お知らせ

本機のチャンネルリストには、ホーム用とおでかけ用の2つがあり、**ホーム** / **おでかけ** をタッチすることでチャンネルリストが切り換わります。おでかけ用リストは次の特徴があります。

- ・車が移動すると現在地に合わせて自動的にチャンネルリスト変更が行われます。
- ・おでかけ用チャンネルリストでは、ホーム用チャンネルリストの放送局と同じ系列局は、同じチャンネル番号に設定されます。(例えば、移動先でホーム用の1chの系列局が見つかった場合、本来のチャンネル番号に関わらず、1chに設定されます)

おでかけモードのチャンネル設定をする

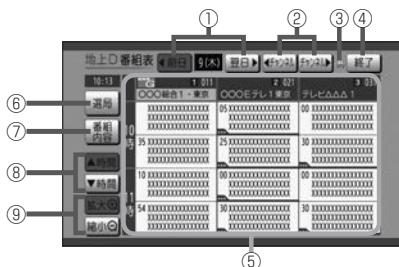
1 デジタルTVメニュー(☞上記)で、

エリア / **初期スキャン** / **再スキャン** を選んでタッチする。

エリア	車が移動したとき、おでかけ用チャンネルリストを自動的に変更するかを設定します。(表示灯点灯：自動変更、消灯：自動変更しない)
初期スキャン	現在地で受信できる放送局をスキャンし、リストを上書きします。
再スキャン	スキャンをして、新たに受信できる放送局が見つかった場合、リストに追加します。(リストの削除・上書きは行いません。)

番組表を見る

1 選局パネル(図 E-14)の **番組表** をタッチする。



- ① 前日・翌日に切り換え(過去の日は表示できません。)
- ② チャンネルの変更
- ③ ホームモード/おでかけモードマーク
- ④ 番組表画面を消す
- ⑤ 番組表(タッチすると選んだ番組の番組内容を表示)
- ⑥ 選局パネルを表示する
- ⑦ 視聴中の番組の内容を表示する
- ⑧ 時間帯の変更(過去の番組は表示できません。)
- ⑨ 番組表の拡大/縮小

お知らせ

- 番組表表示形式の設定(図 E-18)をすると、1つの放送局(チャンネル)に複数の番組がある場合に、1番組のみ表示するか、全番組を表示するかを選択できます。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

視聴予約をする

1 番組表から視聴予約したい番組を選んでタッチする。

→ 番組内容画面が表示されます。

2 **視聴予約** をタッチする。



番組属性の表示に切り換えます。
番組内容の表示に切り換えます。

すでに放送が始まっている番組を選んだ場合は **今すぐ見る** が表示されます。(**今すぐ見る** をタッチすると、TV画面に切り換わります。)

お知らせ

- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に別のチャンネルの予約番組が始まると、予約番組に切り換わります。
- 他のソース使用中に予約番組が始まると、自動でTVソース(予約番組)に切り換わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約番組に切り換わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約番組が終了しても、予約番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- 自動受信以外の受信モード(ワンセグ/地上D)で予約した場合、異なる受信モードの視聴予約は実行できません。
(例：ワンセグ番組を視聴予約していて、予約開始時間に地上Dモードにしていた)
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

TVを見る

選局する

チャンネルを1つずつ進めたり戻したりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

チャンネルリストから選局する 選局パネル(☞ E-14)のチャンネルリストから選んでタッチする。

地上デジタル(12セグ)/ワンセグを切り換える

1 デジタルTVメニュー(☞ E-14)で、

“受信モード”の **自動切換** / **ワンセグ** / **地上D** をタッチする。

自動切換	電波の受信状況により、12セグ/ワンセグを自動で切り換え
ワンセグ	ワンセグを受信
地上D	12セグを受信

信号切り換えを行う

1 デジタルTVメニュー(☞ E-14)で、 **信号切換** をタッチする。

2 各項目を設定する。

マルチビュー	視聴中のチャンネルで主番組と副番組が放送されている場合、◀ / ▶ で切り換え
映像	視聴中の番組に複数の映像がある場合、◀ / ▶ で切り換え
音声	視聴中の番組に複数の音声がある場合、◀ / ▶ で切り換え
二重音声	音声多重放送の場合、◀ / ▶ で切り換え
字幕	字幕の言語をタッチして選択(表示しない : 字幕を表示しない)
文字スーパー	文字スーパーの言語をタッチして選択(表示しない : 文字スーパーを表示しない)

視聴予約を確認する/削除する

1 デジタルTVメニュー(☞ E-14)の

情報/設定 ➡ **視聴予約** をタッチする。

視聴予約を削除する

① 視聴予約リストから削除したい番組を選んでタッチし✓印を付ける。

※タッチするたびに✓印が表示⇄非表示になります。

② **取消** をタッチする。



視聴予約リスト

- ☒ : 視聴予約リストから削除します。
☐ : 視聴予約リストから削除しません。

カーソルパネルを表示する(データ放送を見る)

1 選局パネル(図 E-14)の **d操作** をタッチする。

⇒カーソルパネルが表示されます。

カーソルパネル



操作を
タッチ

数字を
タッチ

数字パネル

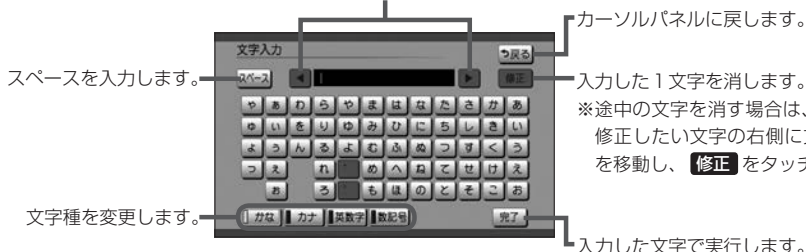


- ① 色ボタン
- ② データ放送を表示
(データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻る)
- ③ データ放送画面内の項目を選択/実行
- ④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
- ⑤ カーソルパネル/数字パネル表示位置の変更
(画面左/右)
- ⑥ 数字パネルに切り換え
- ⑦ カーソルパネル/数字パネルを消す
- ⑧ 数字ボタン
- ⑨ 入力した数字を決定/実行
- ⑩ カーソルパネルに切り換え

お知らせ

- 文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。

文字カーソルを移動します。



- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

TVの設定をする

1 デジタルTVメニュー(□ E-14)の **情報／設定** → **システム設定** をタッチする。

2 設定項目を選んでタッチし、
設定ボタンをタッチして設定する。



オート放送局サーチ	する …受信状態が悪くなった場合、自動で受信状態の良い中継局／系列局に切り換えます。 ※必ず切り換えができるわけではありません。 しない …中継局／系列局に自動で切り換えません。
地上D選局対象 ※本設定は地上デジタル(12セグ)放送でのみ有効です。	テレビ …テレビサービスのみ選局します。 ※番組表の表示もテレビサービスのみになります。 テレビ／データ …テレビサービスと独立データサービスを選局します。
郵便番号	郵便番号を入力し、決定 をタッチする。 (引越など郵便番号が変わった場合に設定してください。)
県域	地域を選んでタッチした後、都道府県を選んでタッチする。 ※伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 東京都島部 をタッチしてください。 ※南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 鹿児島県島部 をタッチしてください。 (引越などで県域が変わった場合に設定してください。)
番組表表示形式	第一内容のみ表示 …番組表表示するとき、各放送局の第一サービスのみ表示します。 ※第一サービス以外のサービスを視聴中の場合は、第一サービスとそのサービスの2つを表示します。 全内容を表示 …番組表表示するとき、各放送局の全サービスを表示します。
ホームチャンネル ホームモードのチャンネル設定を行います。 ※あらかじめホームモードに切り換えが必要です。	初期スキャン …現在受信できる放送局を検索し、チャンネルリストを上書きします。 再スキャン …スキャンして、新たに受信できる放送局が見つかった場合、チャンネルリストに追加します。(リストの削除・上書きは行いません。) マニュアル …設定したチャンネルを修正します。

TVのデバイスID／ソフト情報を表示するには

- ① デジタルTVメニュー(□ E-14)の **情報／設定** をタッチする。
- ② **デバイスID表示** ／ **ソフト情報表示** から選んでタッチする。

ラジオで交通情報を聞く

1 AUDIOメニュー( E-2)から **交通情報** をタッチする。

2 周波数(**1620kHz** / **1629kHz**)を選んでタッチする。

FM / AMを聞く

1 AUDIOメニュー(E-2)から **FM** / **AM** をタッチする。



選局する

エリア選局する	エリア選局リストから選局する方法です。エリア選局リストには、本機の放送局データをもとにして現在地周辺の放送局が表示されます。 ① エリア をタッチする。 ⇒エリア選局リスト表示になります。 ② エリア選局リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。 お知らせ ● 選んだ放送局が必ず受信できるわけではありません。 ● 同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、エリア選局リストに重複した放送局が表示されることがあります。
手動選局する	周波数を手動で変更して選局する方法です。 ◀◀ / ▶▶ を押して、周波数を変える。 ※ 押すたびに、FMは0.1 MHz ずつ、AMは9 kHz ずつ変わります。 ※ ◀◀ / ▶▶ を押し続けると、その間周波数が変わり続けます。 お好みの周波数で指を離してください。 (一定時間以上押し続けていると、指を離さなくても選局が止まります。*)
自動選局する	周波数を自動で変更して、受信可能な放送局を探す方法です。 ※ 受信電波の弱い所では、自動選局ができないことがあります。 ◀◀ / ▶▶ を長押しし、“ビッ”と鳴ったらすぐに指を離す。 ⇒ 選局が始まり、受信可能な放送局の周波数になると自動で止まります。 ※ 自動選局中に ◀◀ / ▶▶ を押すと自動選局は止まります。
放送局リストで選局する	本機が自動サーチして、受信可能な放送局をリスト表示します。 そのリストから選ぶ方法です。 ① 放送局リスト をタッチする。 ⇒ リスト画面になります。 ② リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。
プリセット選局する	お好みの放送局をあらかじめ本機に登録(▶▶ E-22)しておき、登録した放送局のリスト(プリセットリスト)から選ぶ方法です。 ① P1 / P2 から選んでタッチする。 ⇒ 放送局リストがP1 またはP2のプリセットリストに変わります。 ② プリセットリストから聞きたい放送局を選んでタッチする。

プリセットリストに放送局を登録する

P1／P2それぞれ6局まで登録できます。

- 1 登録したい放送局を選局する。
- 2 プリセットリスト(**P1**／**P2**)を選んでタッチする。
- 3 プリセットリストから登録先のボタンを選んでタッチし続ける。

⇒タッチし続けたボタンの表示が現在選局中の放送局表示に変わります。

エリア選局リスト／放送局リストの更新について

FM／AMを聞いている間は、別のエリアへ移動してもエリア選局リスト／放送局リストを自動更新しません。このため、長距離移動したときなどは下記方法により手動でリストを更新してください。

エリア選局リストを更新する

受信画面で **エリア更新** をタッチする。

放送局リストを更新する

受信画面で **放送局リスト** → **リスト更新** をタッチする。

⇒サーチが開始され、完了すると放送局リストが更新されます。

※ **リスト更新** をタッチすると、エリア選局リストの放送局名も更新されます。

※ サーチした結果、受信可能な放送局が見つからなかった場合はもとのリストのままになります。

お知らせ

周波数再編について

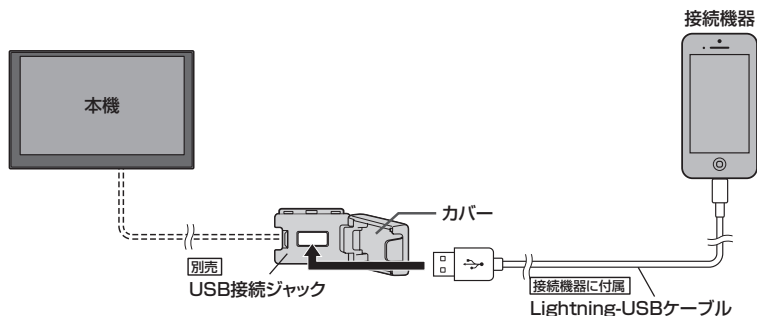
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに登録してください。
- 本機はワイドFM(FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、災害や電波障害に強いFMの周波数帯を使いAMラジオの番組を放送することです。AM放送が聴き取りにくい地域でもFM放送でAMラジオの番組を聴くことができます。ワイドFMの対応、周波数などについては、各地域放送局のホームページをご確認ください。

iPodの接続

接続する前に

Apple CarPlay 対応の iPhone を接続する場合のみ、次の設定を行ってから iPhone を接続してください。

- ① **MENU** → **設定／情報** → **Apple CarPlay 連携機能設定** をタッチする。
- ② “iPhone 接続時の利用機能” の **iPod** をタッチする。



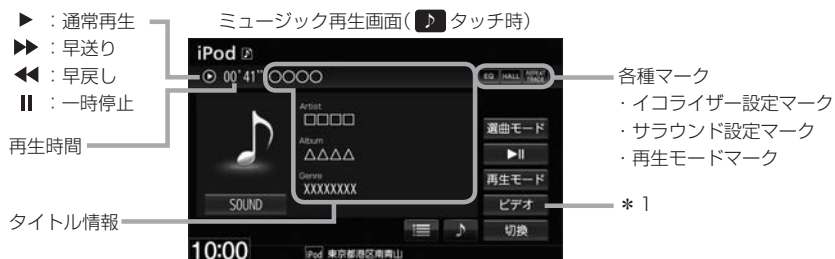
お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくは Honda 販売店にご確認ください。
- USB 接続ジャックに USB メモリーや USB メモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。
- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- iPodによってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機に iPod を接続するときはヘッドフォンなどの機器は外して iPod 単体でお使いください。

iPodのミュージックを聞く

※あらかじめiPodを接続しておく必要があります。[E-23]

1 AUDIOメニュー([E-2])から **iPod** をタッチする。



選曲する

1曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

- ① [E-2] をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって
変わります。

選曲モードから選曲します。



[E-2] : トラックリスト表示にします。

[E-3] : タイトル情報表示にします。

選曲モードから
選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② **選曲方法**を選んでタッチする。
 ※ **全曲** をタッチした場合は全曲
 リストの先頭の曲を再生します。
 (手順③に進みません。)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、
 再生したい曲を選んでタッチする。

アーティストリスト画面(例)

“アーティスト”と表示の
画面ではリストから再生
したい曲のアーティスト
を選んでください。

アーティストの絞り込み
をせずにアルバム選択の
リストに移ります。



* 1… **ビデオ** は使用しません。本機はiPodのビデオモードに対応していません。

※誤って **ビデオ** をタッチした場合は、 **ミュージック** をタッチしてください。

早戻し／早送りする

1 / を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※  /  を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

一時停止する

1 をタッチする。

※一時停止中に  をタッチすると再生に戻ります。

リピート／シャッフル再生する

1 再生モード をタッチする。

2 リピート / シャッフル を選んでタッチする。

※ **シャッフル** はタッチするたびに、シャッフルトラック／シャッフルアルバム／シャッフル解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
シャッフルトラック	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
シャッフルアルバム	現在のトラックリストの曲順をアルバム単位で順不同にして再生 (アルバム内は順番に再生)

お知らせ

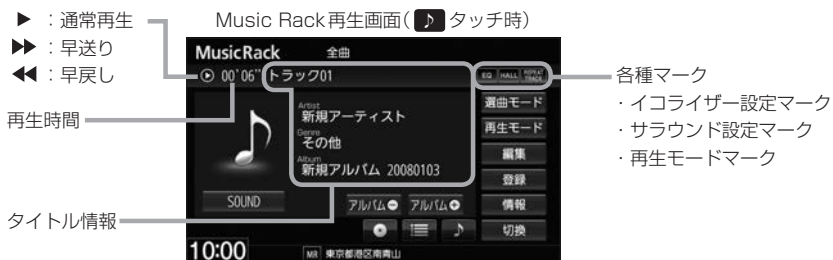
- タイトル情報／選曲モードは iPod 本体に収録されている内容となります。
- iPod のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- iPod の機種やバージョンによっては、タイトル情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod 本体で表示される ~ (半角波形表示) は、本機では - (ハイフン表示) となります。
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

Music Rack の音楽を聞く

本機でSDカードに録音した曲を再生します。

※再生前に、録音に使用したSDカードを挿入しておく必要があります。(録音 [E-2]、SDカードの挿入 [E-32])

1 AUDIOメニュー([E-2])から **Music Rack** をタッチする。



選曲する

1曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

- ① [≡] をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲します。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって
変わります。



再生するアルバムを
選ぶ

- ① [▶] をタッチして、
アルバムリスト表示にする。
- ② 再生したいアルバムを選んで
タッチする。

お知らせ

- 選曲モードで **ジャンル** / **お気に入り**
(トラック1～トラック4)を選んだ場
合は [▶] はタッチできません。
- アルバムリストは選曲モードに
よって変わります。

- [▶] : アルバムリスト表示にします。
- [≡] : トラックリスト表示にします。
- [♪] : タイトル情報表示にします。

- アルバム-** : 前のアルバムに戻します。
- アルバム+** : 次のアルバムに進めます。

前の／次のアルバムを
再生する

アルバム- / **アルバム+** をタッチする。

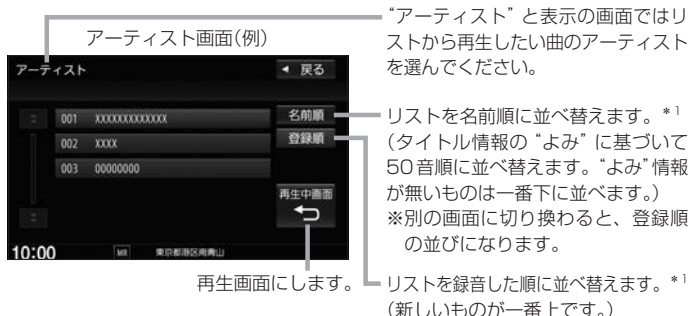
お知らせ

選曲モードで **ジャンル** / **お気に入り**
(トラック1～トラック4)を選んだ
場合は **アルバム-** / **アルバム+** は
表示されません。

選曲する

選曲モードから
選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② **選曲方法** を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。
(手順③に進みません。)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、
再生したい曲を選んでタッチする。



早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ **⏮** / **⏭** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

リピート／ランダム／スキャン再生する

- 1 再生画面(図E-26)の **再生モード** をタッチする。

- 2 **リピート** / **ランダム** / **スキャン** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

* 1…リストの並べ替えボタン(**名前順** / **登録順**)は、アーティストリスト表示またはアルバムリスト表示(お気に入りアルバムを除く)のときのみ表示されます。

* 2… **VXM-185VFNI** **VXM-185VFEI** **VRM-185VFEI** のみ

BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て

BLUETOOTH Audio 機器を再生するための準備

BLUETOOTH Audio 機器の登録と割り当てを行ってください。

BLUETOOTH Audio 機器を本機に登録する

BLUETOOTH Audio 機器の登録は、本機と BLUETOOTH Audio 機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio 機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※ BLUETOOTH Audio 機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐため周囲の他の BLUETOOTH 対応機器の電源はお切りください。

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **機器登録** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器が BLUETOOTH 接続中の場合は切断する必要があります。切断するかメッセージが表示された場合は **はい** を選んで切断してください。

2 BLUETOOTH Audio 機器側を操作して登録を行う。

お知らせ

登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。BLUETOOTH Audio 機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

割り当てを行う

割り当て…BLUETOOTH Audio を再生するとき、登録した機器のうちどの機器を BLUETOOTH 接続するかを設定すること。

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

※ BLUETOOTH Audio 機器が登録されていない場合、**登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** はタッチできません。

2 割り当てを行う機器の **接続する** をタッチする。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度 **接続する** をタッチしてください。



お知らせ

- BLUETOOTH Audio 機器は2台まで登録可能です。(BLUETOOTH接続できる BLUETOOTH Audio 機器は1台までです。)
- 本機に登録済みの BLUETOOTH Audio 機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の一覧を見る

- 1 **MENU** → **電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

※ BLUETOOTH Audio 機器が登録されていない場合、**登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** はタッチできません。

登録を削除する

- 1 登録機器一覧画面で、削除したい機器の **削除** をタッチする。

登録機器の詳細情報を見る

- 1 登録機器一覧画面で、詳細情報を見たい機器の **詳細** をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

- 1 **MENU** → **電話** → **設定** → **本体情報** をタッチする。

⇒BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で **デバイス名変更** をタッチする。



- 2 デバイス名を入力し、**決定** をタッチする。

パスキーを変更する

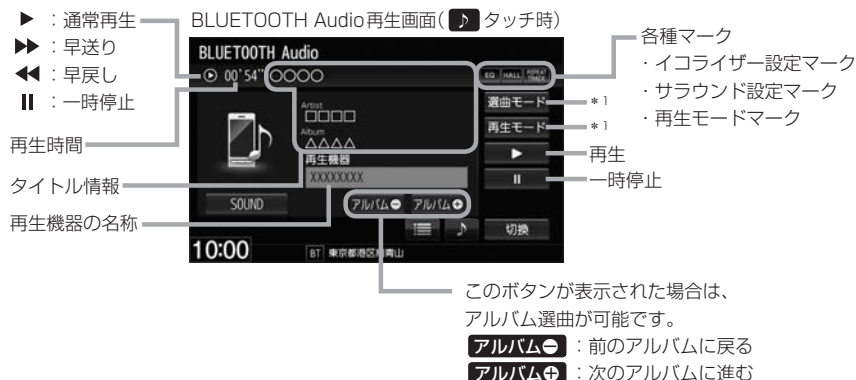
- 1 BLUETOOTH情報画面で **パスキー変更** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。
- 2 パスキーを入力し、**決定** をタッチする。

BLUETOOTH Audioを聞く

※あらかじめBLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て(図 E-28)をしておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(図 E-2)から **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは  をタッチしてください。



お知らせ

- 上記の画面表示や操作ボタンは、機器によって一部表示されない場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合はBLUETOOTH接続できません。
- 接続機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、接続機器側の音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例：iPodとケーブル接続している場合)
- 接続機器によっては、本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、接続機器側で操作してください。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続し直してください。
- ジャケット写真(アルバムアートワーク)は、BLUETOOTH Audioでは表示されません。

* 1…AVRCP ver.1.3以下では操作非対応

選曲する

1 曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

⏮ / ⏭ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

※ AVRCP ver.1.3以下
では操作できません。

- ①  をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲します。

選曲モードから
選曲する

※ AVRCP ver.1.3以下
では操作できません。

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② 選曲方法を選んでタッチする。
- ③ 表示されるリストから順次選んで
タッチしていき、再生したい曲を
選んでタッチする。



 : トラックリスト表示にします。
 : タイトル情報表示にします。

お知らせ

- 再生したい曲を選んだあと、再生画面に戻るには **再生中画面**  をタッチしてください。
- 機器によっては **選曲モード** をタッチしても選曲モード画面を表示できない場合があります。
- 機器によっては選曲モードに表示される内容や選曲操作方法が異なる場合があります。

早戻し／早送りする

- 1  /  を押し続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※  /  を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

※ 早送り／早戻しを始めてすぐ解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は  (再生) をタッチして解除してください。

一時停止する

- 1  をタッチする。

※ 一時停止中に  をタッチすると再生に戻ります。

BLUETOOTH Audioを聞く

リピート／ランダム再生する

※ AVRCP ver.1.4以上でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート**／**ランダム** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。

再生モード名	動 作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返して再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生

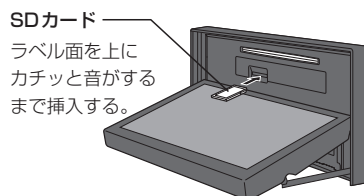


SDカードを挿入する／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。
また、取り出すときは必ずアダプターごと取り出してください。

SDカードを挿入する

- 1 **▲** → **OPEN** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 SDカード挿入口にSDカードを挿入する。
※ 挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。



SDカードを取り出す

- 1 **▲** → **OPEN** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 SDカードを1回押して、取り出す。
- 3 **▲** を押して、ディスプレイを閉じる。

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。
- 長時間使用すると、SDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- お買い上げ時、本機に8GBのSDカードが挿入されています。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聞く

選曲する

※ WALKMAN®に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルは選曲モードの **フォルダ** でのみ再生できます。

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	◀◀ / ▶▶ を押す。	
トラックリストから曲を選ぶ	① ≡ をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。 お知らせ トラックリストは選曲モードによって変わります。	 フォルダ : フォルダリスト表示にします。 ≡ : トラックリスト表示にします。 ♪ : タイトル情報表示にします。 フォルダ- : 前のフォルダに戻します。 フォルダ+ : 次のフォルダに進めます。
再生するフォルダを選ぶ ※SDカード／USBメモリーのみ	① 📁 をタッチして、フォルダリスト表示にする。 ② 再生したいフォルダを選んでタッチする。	
前の／次のフォルダを再生する ※SDカード／USBメモリーのみ	フォルダ- / フォルダ+ をタッチする。	
再生するアルバムを選ぶ ※WALKMAN®のみ	① 🎵 をタッチして、アルバムリスト表示にする。 ② 再生したいアルバムを選んでタッチする。 お知らせ - 選曲モードで ジャンル / グループ / プレイリスト を選んだ場合は 🎵 はタッチできません。 - 選曲モードで フォルダ を選んだ場合は、🎵 が 📁 に変わり、タッチするとフォルダリスト表示になります。 - アルバムリストは選曲モードによって変わります。	 🎵 : アルバムリスト表示にします。

選曲する

選曲モードから
選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② **選曲方法**を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。
(手順③に進みません。)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、
再生したい曲を選んでタッチする。

“フォルダ”と表示の画面
ではリストから再生した
い曲のフォルダを選んで
ください。

フォルダリスト画面(例)



再生画面に
します。

早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** を押し続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※ **⏮** / **⏭** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

リピート／ランダム／スキャン再生する

- 1 再生画面(図 E-33)の **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート** / **ランダム** / **スキャン** を選んで
タッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入(☞ E-32)／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続(☞ E-33)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)から **SD**／**USB** をタッチする。

SDカード：**SD** をタッチ、WALKMAN®およびUSBメモリー：**USB** をタッチ

※音楽／動画が再生された場合は、**モード切換** → **画像ファイル** をタッチすると画像再生に切り換わります。(動画再生中の場合、画面をタッチして **モード切換** を表示させてください。)

再生する画像を選ぶ

1つずつ画像を戻したり
進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

お知らせ

操作ボタン非表示時に左右ヘドレッジ／フリックしても画像を戻したり進めたりできません。

画像リストから選ぶ

※スライドショー中は
操作できません。

① **リスト** をタッチする。

※ **リスト** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

②フォルダを選んでタッチする。

③再生したい画像を選んでタッチする。

スライドショーで画像を見る

※現在選択中のフォルダ内の画像ファイルをスライドショーします。

1 **スライドショー** をタッチする。

※ **スライドショー** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。



スライドショーをやめる

終了 をタッチする。

※ **終了** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

再生間隔を変える

① **再生間隔** をタッチする。

※ **再生間隔** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

②再生間隔の時間を選んでタッチする。

③ **閉じる** → **開始** をタッチする。

表示中の画像を回転させる

※スライドショー中は操作できません。

1 **回転** をタッチする。

※ **回転** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

※ **回転** をタッチするたびに表示中の画像が90° ずつ時計回りに回転します。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入(🔌 E-32)／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続(🔌 E-33)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(🔌 E-2)からSD／USBをタッチする。

SDカード：SDをタッチ、WALKMAN®およびUSBメモリー：USBをタッチ

※音楽／画像が再生された場合は、モード切換→動画ファイルをタッチすると動画再生に切り換わります。(画像再生中の場合、画面をタッチしてモード切換を表示させてください。)

再生する動画を選ぶ

1つずつ動画を戻したり
進めたりする

⏮／⏭を押す。

動画リストから選ぶ

① 再生リストをタッチする。

※ 再生リストは動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

②再生したい動画を選んでタッチする。



リストを変更して選ぶ

① リスト変更をタッチする。

② 全ファイル^{*1}／フォルダ^{*1}を選んでタッチする。

※ フォルダをタッチした場合は、リストからフォルダを選んでタッチしてください。

③再生したい動画を選んでタッチする。

早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ ⏮／⏭を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。^{*2}

一時停止する

1 ⏸をタッチする。

※ ⏸は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

※一時停止中に⏸をタッチすると再生に戻ります。

* 1…WALKMAN®の場合、全ファイルは全てのビデオに、フォルダはVIDEOに変わります。

* 2…(VXM-185VFNI) (VXM-185VFEI) (VRM-185VFEI) のみ

外部機器の映像／音声を視聴する

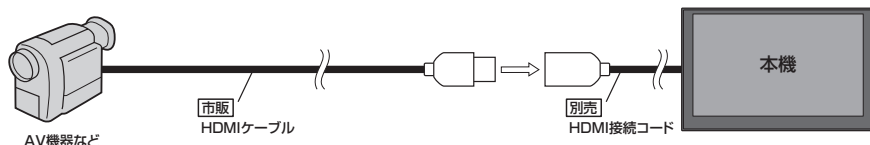
市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

外部機器の接続について

本機は外部機器と以下の方法で接続できます。

HDMIケーブルで接続

※ **VXM-185VFNi** **VXM-185VFEi** **VRM-185VFEi** のみ

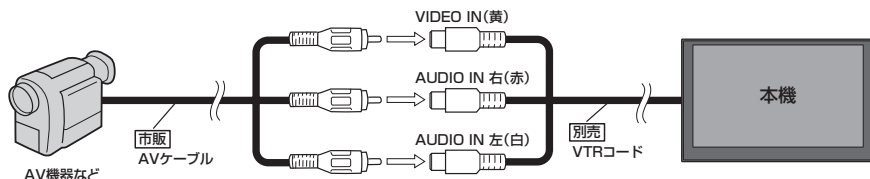


お知らせ

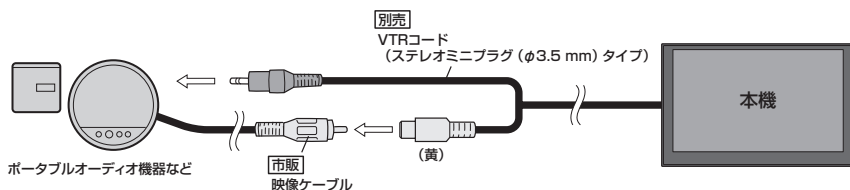
HDMIケーブルで接続した場合は、本機で接続設定が必要です。(お買い上げ時、“HDMI接続”は **しない** に設定されています。)

- ① **[MENU]** → **設定／情報** → **サウンド** → **オーディオ詳細設定** → **外部接続** をタッチする。
- ② “HDMI接続”の **する** をタッチする。

AVケーブルで接続



ステレオミニプラグと映像ケーブルで接続



ステレオミニプラグで接続



外部機器の映像を見る／音声を聞く

準備

接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。

※本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。

1 外部機器を本機と接続する。[E-38]

※HDMIケーブルで接続する場合は、本機での接続設定も必要です。

2 本機を起動し、外部機器の電源を入れる。

3 AUDIOメニュー([E-2])からHDMI／VTRをタッチする。

HDMIケーブルで接続	HDMI をタッチ
AVケーブルで接続	VTR をタッチ
ステレオミニプラグと映像ケーブルで接続	VTR をタッチ
ステレオミニプラグで接続	VTR をタッチ

※HDMIケーブル接続は、(VXM-185VFNI) (VXM-185VFEI) (VRM-185VFEI) のみ対応しています。

4 AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

お知らせ

- 接続される機器の電源を切ってから、本機の電源を切って(車のエンジンスイッチをロックに入れて)ください。
- 接続した機器によっては映像や音声がでない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)

HDMIソースについて (VXM-185VFNI) (VXM-185VFEI) (VRM-185VFEI) のみ

- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。
- 対応している映像信号は720p、1080i、480p(16:9、4:3)です。
- HDMIで接続した機器の音声はBLUETOOTHで接続されている場合、HDMIで音声がでないことがあります。そのような場合は機器側のBLUETOOTHの接続をOFFしてからHDMIを使用してください。

VTRソースについて

- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入カインピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入カインピーダンス47 kΩ)

オーディオ設定をする

1 MENU → 設定／情報 → サウンド をタッチする。

※ DVD を見ているときは [MENU] を 2 回押すことが必要となる場合があります。

2 サウンド画面の各ボタンをタッチして、設定を行う。

サウンド画面では、以下の設定を行うことができます。

フェード・バランス設定

前後左右のスピーカーの音量バランスを設定します。

イコライザー設定

各帯域の音のレベル設定をして、音質調整をします。



音響効果の設定

サラウンドの種類を選んで設定します。

スピーカー設定

スピーカー出力レベル・スピーカーディレイ・スピーカーサイズの設定をします。

その他のオーディオ詳細設定

車速連動音量設定・HDMI接続設定をします。(HDMI接続設定は E-38)

お知らせ

- オーディオ OFF のときはオーディオ設定はできません。オーディオ ON にしてから設定してください。
- イコライザー設定と音響効果の SRS CS Auto 設定は同時に両方有効にはできません。(例：SRS CS Auto を設定すると、イコライザー設定は OFF になります。)

フェード・バランス設定やサブウーファー音量調整^{*1}をする

1 サウンド画面で“FADE／BALANCE^{*2}”の「詳細設定」をタッチする。

2 ▼／▲／◀／▶／－／＋をタッチして、調整する。

▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後スピーカーの音量が下がる。
◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。
－ ^{*1}	サブウーファーの音量が下がる。
＋ ^{*1}	サブウーファーの音量が上がる。



イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

前後左右のスピーカーの音量バランスをセンターに戻します。

* 1…サブウーファーの音量調整は、[VRM-185VFEI] [VRM-185VFi] のみ対応しています。

* 2…[VRM-185VFEI] [VRM-185VFi] の場合、“FADE／BALANCE／SUB WOOFER”と表示されます。

イコライザー設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“イコライザープリセット”の **VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER** から好みのイコライザー設定を選んでタッチする。

※音響効果設定で“SRS CS Auto”を設定している場合はタッチできません。

イコライザー設定を解除する

OFF をタッチする。

お知らせ

USER は初期値がOFF(各帯域のレベルが全てゼロ)ですので、イコライザーの詳細設定(設定値の変更)を行って使用してください。

イコライザープリセットの設定値を変更する

- ①サウンド画面で“イコライザープリセット”の **詳細設定** をタッチする。
- ②設定値の変更をしたいボタン(**VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER**)を選んでタッチする。
- ③各帯域の **▲** / **▼** をタッチしてレベルを調整する。
- ④ **登録** をタッチする。



周波数帯域

イコライザーのレベルを青色バーで表示
※この表示部分をタッチしてもレベル調整が可能です。

手順②で選んだボタンの設定値を初期値に戻します。

車速連動音量を設定する

車の速度に応じてオーディオ音量を自動調整するよう設定できます。

- 1 サウンド画面で **オーディオ詳細設定** → **車速連動音量** をタッチする。
- 2 **HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** / **OFF** から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

お知らせ

車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、オーディオ音量のみです。

オーディオ設定をする

音響効果の設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“エフェクト”の **音の匠** / **SRS CS Auto** / **DSP** から音響効果を選んでタッチする。

音響効果の設定を解除する

OFF をタッチする。

音響効果の選択ボタン



選んだ音響効果によって、この部分の表示が変わります。

音の匠

XXXXXXには車種名が入ります。

SRS CS Auto

タッチするとSRS CS Autoの詳細設定ができます。

DSP

◀ / ▶ をタッチして、音場環境を選択します。

現在選択中の音場環境

音の匠

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しむことができます。
※選択するには、専用スピーカーの装着などの車種別セットアップが必要です。車種別セットアップの詳細はHonda販売店にお問い合わせください。（車種別セットアップでスピーカー出力レベルとスピーカーディレイが最適な値に設定されます。）

SRS CS Auto

SRSのサラウンド効果を得ることができます。必要に応じて下記の詳細設定が可能です。
※2スピーカーでは、設定しても本サラウンド効果は得られません。

詳細設定

- ① “エフェクト”で **SRS CS Auto** を選んだ後、“サラウンド”の **詳細設定** をタッチする。
- ② **FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear** をタッチし、それぞれの画面で設定を行う。

FOCUS	感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 (車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります) + / - をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 (+ … 音の聞こえてくる位置が高くなる、- … 位置が低くなる)
TruBass	低音の強さを設定できます。 + / - をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 (+ … 低音が強くなる、- … 低音が弱くなる)
MixToRear	DVDによってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定できます。 ◀ / ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 (◀ … 出力量が小さくなる、▶ … 出力量が大きくなる)

音響効果の設定をする

DSP

いろいろな環境の音場を擬似的に再現することができます。

“エフェクト”で **DSP** を選んだ後、“サラウンド”の ◀ / ▶ をタッチして、疑似再現したい音場環境を選んでください。

- LIVE** ライブハウスのような音場
- HALL** コンサートホールのような音場
- STADIUM** スタジアムのような音場
- CHURCH** 残響音の多い教会のような音場

スピーカーの出力レベルを設定する

1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカー出力レベル** をタッチする。

2 ◀ / ▶ をタッチして各スピーカーの出力レベルを設定する。

お知らせ

0 dBが標準で、マイナス値にすると出力が小さくなります。

オーディオ

スピーカーディレイを設定する

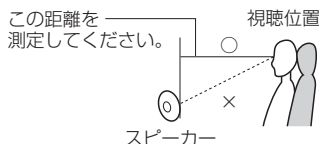
視聴位置から最も距離の離れたスピーカーに合わせて他のスピーカーの出力タイミングを遅らせます。
(設定値 10 cm あたり約 0.3 ms 遅らせます)

1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカーディレイ** をタッチする。

2 ◀ / ▶ をタッチして視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する。

お知らせ

視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



スピーカーサイズを設定する

1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカーサイズ** をタッチする。

2 “フロント” および “リア” それぞれの **LARGE** / **NORMAL** を選んでタッチする。

設定の目安

LARGE	スピーカーの大きさ 17 cm 以上
NORMAL	スピーカーの大きさ 16 cm 以下

※ 上記は目安ですので、設定する場合は SRS CS Auto を ON にした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方を選んでください。

AUDIO メニューをカスタマイズする

※お好みにカスタマイズできるのは **AUDIO** を押して最初に表示される画面のみです。

- 1 AUDIOメニュー(E-2)から **カスタマイズ** をタッチする。
※ **カスタマイズ** をタッチした後、メッセージが表示されますので、**OK** をタッチしてください。
- 2 / をタッチして、画面に表示されるボタンの数(3～8個)を変更する。
- 3 各ボタンをタッチして、ボタンを変更する。
- 4 **決定** をタッチする。



配置をお買い上げ時に戻します。
(ボタンの数は戻しません)

表示されるボタンの数(3～8個)を変更するには

/ をタッチする。

※左右に、ドラッグ/フリックしても変更できます。

ボタンの変更を行うには

- ①変更したいボタンをタッチする。
- ②AUDIOメニュー候補が表示されるので、新しく表示するボタンを選んでタッチする。
- ③ **戻る** をタッチする。

お知らせ

手順 **3** ですでに配置されているボタンをメニュー候補から選んだ場合、そのボタンはもとの位置から指定位置へ移動され、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。

例) **CD** を **TV** に変更する場合

TV はすでに配置されています。



メニュー候補から
TV を
タッチすると…



F

Music Rack(録音と曲管理)

音楽CDを録音する	F-2
録音設定をする	F-4
録音した曲を削除する	F-5
お気に入り登録をする	F-6
お気に入りからアルバム／トラックを削除する	F-7
ジャケット写真を登録する	F-8
Gracenote データベースの更新について	F-9
更新方法の種類	F-9
更新の操作方法	F-9
Gracenote データベースを初期化する	F-10
録音した曲のタイトル情報を修正する	F-10
再生しないアルバム／トラックを選ぶ	F-12
Music Rack の使用容量を確認する	F-12

音楽CDを録音する

Music Rackは本機で音楽CDをSDカードに録音し、再生できる機能です。

準備

本機にSDカードを挿入してください。[E-32]
※お買い上げ時、本機に8 GBのSDカードが挿入されています。

1 録音する音楽CDを挿入する。[E-4]

※録音設定で**自動録音**に設定していると、手順**1**で未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。以降の操作は必要ありません。(1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音されません。)

※自動録音に設定していない場合など、手動録音するには手順**2**に進んでください。

2 CD再生画面で●録音をタッチする。

※CD再生画面を表示するにはAUDIOメニュー([E-2])から**CD**をタッチします。



3 録音方法を選ぶ。



全曲録音する場合

“録音方法”の**全曲録音**をタッチする。

※SDカードの残容量が足りない場合はタッチできません。

録音する曲を選ぶ場合

① “録音方法”の**選択曲録音**をタッチする。

② トラックリストから録音したい曲をタッチして✓印を付ける。

③ **決定**をタッチする。

録音曲選択画面



→ 選択が解除され、ひとつ前の画面に戻ります。

→ 録音したい曲を確定します。

トラックをタッチするたびに✓印の有無が切り換わります。

☑: 録音します。

☐: 録音しません。

4 ●録音開始をタッチする。

録音を中止する

1 CD再生画面で **録音中止** をタッチする。

お知らせ

録音を中止しても録音が終わっているトラックはSDカードに保存されます。

お知らせ

録音・再生について

- 録音は本機で再生できる音楽CDのみ可能です。
※ MP3 / WMA ファイルのあるCDは録音できません。
- 録音した曲は本機のMusic Rackソースでのみ再生できます。本機のSDソースや他機器では再生できません。
- 同じSDカードに同じ曲を重複して録音することはできません。
- 最大録音曲数は10,000曲までです。SDカードに空きがあっても10,000曲を超える録音はできません。
- 音楽CDの記録面のキズ、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音する音楽CDに依存しますのでご了承ください。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、音楽CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音をしながら他のソースにすることができます。また、オーディオをOFFにしても録音は継続されます。
- 録音中は、Music Rackの再生は可能ですが、SDソースでの再生はできません。
- CDソースでリピート/ランダム/スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。
- 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声の停止することがあります。
- 録音中に音楽CDを取り出した場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
- 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

SDカードについて

- 録音するとSDカードに「RECAUDIO」というフォルダが作成されます。「RECAUDIO」フォルダはパソコンなどで削除/変更を行わないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、SDカード内の保存データについては補償できません。

Music Rackのタイトル情報について

本機はCDを録音するときタイトル情報と一緒に記録を行います。Music Rackのタイトル情報は、録音時にCD再生画面に表示されたタイトル情報で記録します。

お知らせ

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は最大で全角32(半角64)文字です。
- 録音時に付けるタイトル情報がCD再生画面表示通りになるのは、録音したCDの情報が本機データベースにヒットした場合のみです。本機データベースにヒットしなかった場合、トラック名: "トラックXX" (XXはトラック番号)、アルバム名: "新規アルバムXXXXXXXX" (XXXXXXXXは録音した日付)、アーティスト名: "新規アーティスト" と記録されます。
- 該当するジャンル名が無い場合は "その他" と表示されます。

Music Rackでは、録音した各トラック/アルバムのタイトル情報を修正できます。[F-10]

録音設定をする

自動録音／手動録音の選択や、音質の設定をすることができます。

1 CD再生画面で **録音設定** をタッチする。

※ CD 再生画面を表示するには AUDIO メニュー( E-2) から **CD** をタッチします。

2 設定したい項目のボタンをタッチする。

録音可能時間を表示



録音管理

- 自動録音** …音楽 CD を本機に挿入すると曲の再生とともに自動で録音を開始する。
※ 1 曲でも録音済みの音楽 CD を挿入した場合、自動録音は開始されません。
- 手動録音** …自動では録音を開始しない。

音質

 /  をタッチして録音音質を設定できます。

音質と録音可能曲数の目安

音質(ビットレート)	96 kbps	128 kbps	192 kbps	256 kbps	320 kbps
録音可能曲数	約2900曲	約2100曲	約1450曲	約1050曲	約850曲

※ 1 曲を 4 分で換算し、付属の SD カード(8 GB)を使用した場合

録音した曲を削除する



- 削除(初期化)中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 削除(初期化)すると、お客様の音楽データは消去され、もとに戻りません。

全ての曲を削除する(録音データ初期化)

- 1 AUDIOメニュー(⏮ E-2)から **Music Rack** をタッチする。
- 2 **情報** → **録音データ初期化** をタッチする。

選択した曲を削除する

- 1 AUDIOメニュー(⏮ E-2)から **Music Rack** をタッチする。
- 2 **編集** → **曲管理** をタッチする。
- 3 削除する曲を選ぶ。



アルバムを選んで アルバムごと削除	① アルバムリストから削除するアルバムを選んでタッチする。 ② 削除 をタッチする。
トラックを選んで削除	① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。 ② トラック表示 をタッチする。 ③ 削除するトラックを選んでタッチする。 ④ 削除 をタッチする。

お気に入り登録をする

1 Music Rack でお気に入りに登録したいトラック／アルバムを選曲する。

2 **登録** → **お気に入り** をタッチする。

3 登録先のフォルダ(お気に入りフォルダ)を選んでタッチする。

選曲したトラックの アルバムを登録	お気に入りアルバム 1 ～ お気に入りアルバム 4 から選んでタッチする。
選曲したトラックを登録	お気に入りトラック 1 ～ お気に入りトラック 4 から選んでタッチする。

お知らせ

- お気に入りに登録したトラック／アルバムは選曲モードの **お気に入り** で選曲することができます。
- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りアルバム1

⊙フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム2

⊙フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム3

⊙フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム4

⊙フォルダ 200アルバム
(200CD)

4つのアルバム
フォルダ

1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能

お気に入りトラック1

♪フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック2

♪フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック3

♪フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック4

♪フォルダ 200トラック
(200曲)

4つのトラック
フォルダ

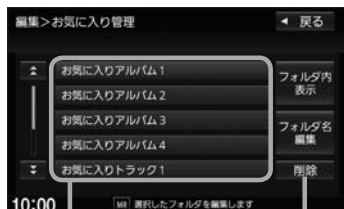
1フォルダに200曲
合計800曲登録可能

お気に入りからアルバム／トラックを削除する

1 AUDIOメニュー(E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 **編集** → **お気に入り管理** をタッチする。

3 お気に入りフォルダを選んでタッチし、
フォルダ内表示 をタッチする。



お気に入りフォルダのリスト 選んだお気に入りフォルダ内の曲を全削除します。

4 リストから削除したいアルバム／トラックを選んでタッチし、
削除 をタッチする。



注意

削除中は他の操作(AUDIOソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入りフォルダのフォルダ名の変更ができます

① Music Rack再生画面で **編集** → **お気に入り管理** をタッチする。

※ Music Rack再生画面は、AUDIOメニュー(E-2)から **Music Rack** をタッチすると表示されます。

② フォルダリストから名前を変更したいフォルダを選んでタッチし、
フォルダ名編集 をタッチする。

③ フォルダ名を文字入力して、**決定** をタッチする。

ジャケット写真を登録する

準備

本機に、登録したい画像ファイルが入ったSDカードを挿入／USBメモリーを接続してください。

ジャケット写真に登録できる画像ファイル形式

- JPEG形式のみ登録可能です。
- 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
※176×176ピクセル以下では表示エリアより小さく表示されます。

Music Rack 再生画面



ジャケット写真

- 1 AUDIOメニュー(E-2)から **Music Rack** をタッチする。
- 2 **編集** → **曲管理** をタッチする。
- 3 アルバムリストからアルバムを選んでタッチし、 **ジャケット写真** をタッチする。
- 4 登録したい画像ファイルを選ぶ。
 - ①登録したい画像ファイルが入ったメディア(**SDカード** ／ **USB**)を選んでタッチし、**ジャケット写真を選択する** をタッチする。
 - ②フォルダリストから登録したい画像ファイルが入ったフォルダを選んでタッチする。
 - ③登録したい画像をタッチする。

お知らせ

- 登録したジャケット写真を削除することはできません。
- ジャケット写真を変更するには、上記の手順でジャケット写真を再度登録してください。

Gracenote データベースの更新について

更新方法の種類

更新方法は大きく下記の2つに分かれます。

オンライン検索	新しいタイトル情報をオンラインで取得する方法です。 ・ インターナビ・データ通信 USB を使用して、Gracenote 音楽認識サービスより情報を取得します。 ・ 音楽 CD (アルバム) または曲で個別にタイトル情報を取得します。
パソコンを使用したデータベース更新	パソコンで指定ホームページからデータベース更新ファイルを取得して本機データベースを更新する方法です。 ・ ローカルアップデート (多数のタイトル情報をまとめてデータベース更新する方法) と、カスタムアップデート (アルバムで個別にデータベース更新する方法) が選択できます。 ・ パソコン、インターネット接続、SD カードなどの動作環境が必要です。

お知らせ

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、インターネット接続環境 (64 kbps 以上推奨)、SD カード (8 MB 以上) などの動作環境を整えていただく必要があります。
※パソコンの動作環境 (OS など) については、指定ホームページ*¹ をご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順 (操作方法) は指定ホームページ*¹ でご確認ください。
ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。

* 1…指定ホームページ

<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

更新の操作方法

オンライン検索	CD 再生画面のタイトル情報についてデータベース更新する CD 再生画面で オンライン検索 をタッチする。[E-6] 録音した曲のタイトル情報についてデータベース更新する Music Rack のアルバム / トラック編集画面で オンライン検索 をタッチする。 [F-11]
パソコンを使用したデータベース更新	指定ホームページ (上記) でローカルアップデート / カスタムアップデートの操作方法をご確認ください。

Gracenote データベースを初期化する

1 MENU → 設定／情報 → サウンド → **gracenote** をタッチする。

2 **初期化** をタッチする。
※録音中はタッチできません。

⚠ 注意

- 初期化中は他の操作(AUDIO ソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、お客様が今までオンライン検索／ローカルアップデート／カスタムアップデートで更新したデータは消去され、もとに戻りません。

録音した曲のタイトル情報を修正する

トラック名／アーティスト名／アルバム名の修正(名前と読み)およびジャンル分類を修正できます。

1 AUDIOメニュー(🔊 E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 タイトル情報を修正したい曲を選曲する。

3 修正対象を選び、下表の操作を行う。

選曲中のトラックのみ修正^{*1}

編集 → **現在の曲** をタッチする。

選曲中のアルバム内の全曲を一斉に修正^{*2}

編集 → **現在のアルバム** をタッチする。

* 1…アルバム名をトラックごとに手動修正することはできません。

* 2…トラック名は、全曲一斉に手動修正することはできません。

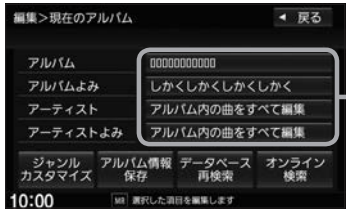
録音した曲のタイトル情報を修正する

4 修正方法を選び、下表の操作を行う。

手動修正	トラック名／アーティスト名／アルバム名を修正 ① 変更する項目をタッチする。 ② 文字入力を行う。 ジャンル分類を修正 ① ジャンルカスタマイズ をタッチする。 ② ジャンルリストから選んでタッチする。
本機のデータベースを再検索* 1	データベース再検索 をタッチする。
オンライン検索	オンライン検索 をタッチする。

* 1…本機のデータベースにタイトル情報が無いアルバム／トラックの場合、**データベース再検索** をタッチしても修正できません、またデータベースの情報が間違っている場合もあります。この場合、データベースの更新 (F-9) をしてから再度 **データベース再検索** をタッチしてください。

アルバム編集画面 (例)

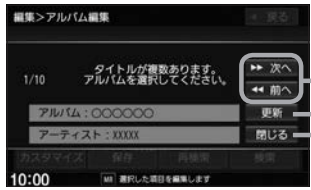


手動修正する場合は
変更したい項目をタッチ
※アーティスト名の修正結果は、
再生画面で確認できます。

お知らせ

データベース再検索 / **オンライン検索** をタッチして複数検索された場合は下記画面が表示されます。

タイトル複数選択画面



1 **次へ** / **前へ** をタッチしてアルバムを選ぶ。

2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチする。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

再生しないアルバム／トラックを選ぶ

1 AUDIOメニュー(ⓁⓂ E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 **編集** → **曲管理** をタッチする。

3 下表の操作をして、再生しないアルバム／トラックの✓印を非表示にする。

再生しないアルバムを選ぶ	① 再生選択 をタッチする。 ② 再生しないアルバムをタッチして✓印を非表示にする。
再生しないトラックを選ぶ	① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。 ② トラック表示 をタッチする。 ③ 再生選択 をタッチする。 ④ 再生しないトラックをタッチして✓印を非表示にする。

(例) アルバム再生選択画面

アルバムをタッチする
たびに✓印が表示／非
表示となります。

☑表示：再生します。
☐表示：再生しません。



全選択 — 全てのアルバムに
✓印が付きます。

全解除 — 全てのアルバムの
✓印が消えます。

4 **決定** をタッチする。

お知らせ

- 再生選択は、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- 再生選択で再生しない設定をしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100より多い場合、再生選択画面に **前へ**／**次へ** が表示されます。 **前へ**／**次へ** をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。

Music Rack の使用容量を確認する

1 AUDIOメニュー(ⓁⓂ E-2)から **Music Rack** をタッチする。

2 **情報** → **SDカード情報** をタッチする。

G

携帯電話との連携

携帯電話のBLUETOOTH接続	G-2
携帯電話をBLUETOOTH接続する	G-2
登録した携帯電話の一覧を見る	G-3
本機のBLUETOOTH情報を確認する	G-4
NaviCon [®] を使用する	G-4
Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う	G-6
ハンズフリーで電話する	G-8
電話を受ける(着信時の操作)	G-8
通話中の操作	G-9
電話をかける	G-10
ハンズフリーの通話設定をする	G-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する	G-14
Apple CarPlayを使う	G-16

携帯電話のBLUETOOTH接続

携帯電話をBLUETOOTH接続する

BLUETOOTH接続するには、携帯電話を本機にハンズフリー登録して、割り当てを行ってください。
なお、一度BLUETOOTH接続すると、次回からは自動でBLUETOOTH接続を行います。

お知らせ

BLUETOOTH接続を解除するには、割り当てを解除してください。[F] 下記「割り当てを行う」

携帯電話を本機にハンズフリー登録する

ハンズフリー登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源をお切りください。

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **機器登録** → **ハンズフリー** をタッチする。

2 登録する携帯電話の会社名をタッチする。

※ご使用の携帯電話がNTT ドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、**その他** を選んでください。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器がBLUETOOTH接続中の場合は切断する必要があります。
切断確認のメッセージが表示された場合は **はい** を選んで切断してください。

3 携帯電話側を操作してハンズフリー登録を行う。

お知らせ

- 登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。
- BLUETOOTH Audio 登録もできる場合は確認メッセージが表示されるので、**はい** (登録する)／**いいえ** (登録しない)を選んでください。

割り当てを行う

登録した携帯電話に、どの機能を割り当てるかを設定します。

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **ハンズフリー** をタッチする。

⇒携帯電話登録一覧画面が表示されます。

※携帯電話がハンズフリー登録されていない場合、**登録機器一覧** → **ハンズフリー** はタッチできません。

2 割り当てる携帯電話の  /  をタッチする。

 : ハンズフリーで電話をする携帯電話に割り当て

 : Drive T@lker・NaviCon® をする携帯電話に割り当て

※Drive T@lkerを使用する携帯電話は、 と  の両方を設定してください。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度  /  をタッチしてください。



お知らせ

ハンズフリー登録について

- ハンズフリー登録は4台まで登録可能です。(BLUETOOTH接続できる携帯電話は1台までです。)すでに4台登録済みの場合は登録操作はできません。
- 本機に登録済みの携帯電話を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

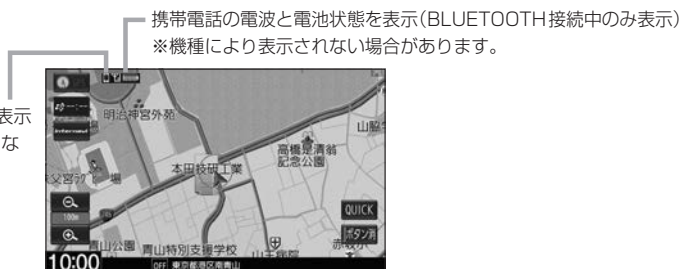
割り当てについて

- 割り当てはハンズフリーで1台まで、Drive T@lker・NaviConで1台まで可能です。
- 新規に携帯電話をハンズフリー登録したときは、割り当てが変わります。
- 割り当てが変わると、BLUETOOTH接続が新しく割り当てられた携帯電話へ変更されます。

BLUETOOTH接続について

- 携帯電話が接続できない状況(携帯電話の電源が入っていない、携帯電話側でBLUETOOTH接続をOFF にしているなど)の場合は接続できません。
- BLUETOOTH接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 携帯電話を登録して「ハンズフリー」に割り当てると、携帯電話のアイコンが地図画面に表示されます。

登録・割り当てされていると表示
(BLUETOOTH接続できていない場合は暗く表示)



- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の一覧を見る

※携帯電話登録一覧画面で、登録の削除／登録携帯電話の詳細情報確認ができます。

1 MENU → 電話 → 設定 → 登録機器一覧 → ハンズフリー をタッチする。

⇒携帯電話登録一覧画面が表示されます。

※携帯電話がハンズフリー登録されていない場合、**登録機器一覧** ➡ **ハンズフリー** はタッチできません。

登録を削除する

1 携帯電話登録一覧画面で、削除したい携帯電話名のボタンを選んでタッチする。

2 **削除** をタッチする。

[登録している携帯電話の詳細情報を見る](#)

1 携帯電話登録一覧画面で、詳細情報を見たい携帯電話名のボタンを選んでタッチする。

携帯電話のBLUETOOTH接続

本機のBLUETOOTH情報を確認する

BLUETOOTH情報画面で、デバイス名／パスキーの変更ができます。

- 1 **MENU** → **電話** → **設定** → **本体情報** をタッチする。
⇒ BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で **デバイス名変更** をタッチする。



- 2 デバイス名を入力し、**決定** をタッチする。

パスキーを変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で **パスキー変更** → **ハンズフリー** をタッチする。
- 2 パスキーを入力し、**決定** をタッチする。

NaviCon[®]を使用する

NaviCon[®]は、スマートフォンで探した目的地を本機に転送し、本機でルート探索・ルート案内などが行えるスマートフォンアプリです。

※ NaviCon[®]アプリの入手方法、NaviCon[®]に関する詳細は、NaviCon[®]のWebサイト (<https://navicon.com/user/support/>) をご覧ください。

本機でNaviCon[®]が使用できる端末について

NaviCon[®]アプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンで使用可能です。(NaviCon[®]アプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンについては、NaviCon[®]のWebサイトをご覧ください。)

※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviCon[®]を使用することができません。

※スマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備

- ・本機とスマートフォンのBLUETOOTH接続を確認してください。
(接続方法 G-2)
- ・iPhoneでNaviCon[®]を使用する場合、ケーブル接続しているiPodやiPhoneを全て外してください。
- ・AndroidスマートフォンでNaviCon[®]を使用する場合、Apple CarPlay対応のiPhoneをケーブル接続しているときは外してください。

NaviCon[®]を使用する

本機は、「目的地の転送」と「友達マップの表示」に対応しています。

目的地を本機に転送してルート探索する

- 1 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを起動する。
- 2 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを操作して、目的地を設定する。

⇒目的地が転送され、本機でルート探索を開始します。

お知らせ

手順 2 でルート探索後、本機にルート全表示画面が表示された場合は、本機で **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

友達マップを表示する

- 1 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを起動する。
- 2 スマートフォン側でNaviCon[®]アプリを操作して、友達マップを開始する。
- 3 本機で **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **NaviCon 友達マップ** をタッチし、“友達マップ”の **開始** をタッチする。



友達マップの表示をやめるには

終了 をタッチする。

開始 をタッチ後に **全体表示** をタッチすると、現在表示できる友達アイコンが全て表示される地図画面に切り換わります。（場合によっては、全て表示できないときもあります。）

開始 をタッチ後、
地図画面に切り換えると…

友達マップ画面



友達アイコン

※色で友達の通信状態を表します。
緑色：オンライン、灰色：オフライン

友達マップ表示を開始しているとインジケータを表示します。

※スマートフォンの通信回線の状態により色が変わります。

緑色：通信中、黄色：通信不能

※友達マップ表示を終了する、またはBLUETOOTH接続が切断されると、インジケータは消えます。

お知らせ

- NaviCon[®]アプリ側で地図をスクロール／拡大／縮小すると、本機の地図にも反映されます。
- NaviCon[®]アプリのバージョンによってはNaviCon[®]連携できない場合があります。NaviCon[®]アプリは最新のバージョンでご使用ください。
- NaviCon[®]アプリ側での操作方法は、NaviCon[®]のWebサイトまたはNaviCon[®]のヘルプをご覧ください。

Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う

Drive T@lkerはスマートフォン用の音声認識アプリです。Drive T@lkerがインストールされたスマートフォンと連携することで、発話で目的地を設定したり、天気を調べたりすることができます。

音声認識を利用するには、スマートフォンアプリ「Drive T@lker」と、本アプリに適合したiPhoneおよびAndroidスマートフォンが必要です。

「Drive T@lker」アプリのダウンロードや適合スマートフォンについては<http://www.honda.co.jp/navi/support/>をご覧ください。

準備

- ・本機とスマートフォンのBLUETOOTH接続を確認してください。
(接続方法「[P. G-2](#)」)
- ・iPhoneでDrive T@lkerを使用する場合、ケーブル接続しているiPodやiPhoneを全て外してください。
- ・AndroidスマートフォンでDrive T@lkerを使用する場合、Apple CarPlay対応のiPhoneをケーブル接続しているときは外してください。
- ・スマートフォン側でDrive T@lkerアプリを起動してください。

1

AUDIO を長押しする。

2

音声ガイドの問いかけに、本機のマイクに向かって発話して応答する。

※音声ガイド中は発話しても認識されません。

音声ガイドのあと、効果音が鳴ってから発話してください。



お知らせ

- 音声ガイド中に画面をタッチすると、音声ガイドをスキップできます。(手順 **2** で最初に問いかけの音声ガイドなど、スキップできない場合があります。)
- [MENU]** / **[現在地]** を押すなどして音声認識画面から別の画面に切り換えたり、ハンズフリーで電話を発信／着信したりすると、音声認識は終了します。
- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。(ただし、Android端末の場合、Drive T@lkerアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。)

音声認識の流れ(目的地設定での問いかけと発話の例)

音声ガイド：「こんにちは。行きたいところをお話ください。」

発話：「近くのガソリンスタンド。」

音声ガイド：「この付近のガソリンスタンドをお調べします。」

・・・。

20件のガソリンスタンドが見つかりました。

近い順に

1. ○○石油××SS

2. △△石油××SS

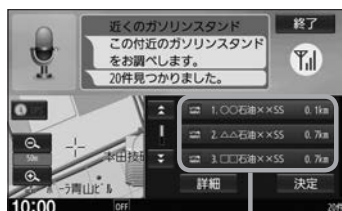
3. □□石油××SS です。」

発話：「3番。」

音声ガイド：「□□石油××SSを目的地に設定しますか？」

発話：「はい。」

音声ガイド：「ルートを探します。お氣をつけて。」



ガソリンスタンドが見つかったとリスト表示します。

発話の他、リストをタッチしても選択ができます。

※タッチ操作をした場合、発話の認識は終了しますので、以降はタッチ操作で目的地設定を行ってください。

音声認識が使用できるシーンと発話例

本機の音声認識では、「目的地(経由地)を設定する」「探索条件を設定(変更)する」「天気調べる」を行うことができます。下記の発話例を参考にしてご使用ください。

• 目的地を設定するときに

使用シーン例	発話例
住所で設定したい	「東京都港区南青山2の1の1」
近くで食事したい	「周辺のファミレス」
名称で目的地設定し、条件は 有料優先 で探索する	「東京駅。有料優先で」

• ルート案内中に

使用シーン例	発話例
経由地を設定したい	「コンビニに立ち寄り」
探索条件を 一般優先 に変えたい	「一般優先で」
目的地の天気が知りたい	「目的地の天気は？」

• その他

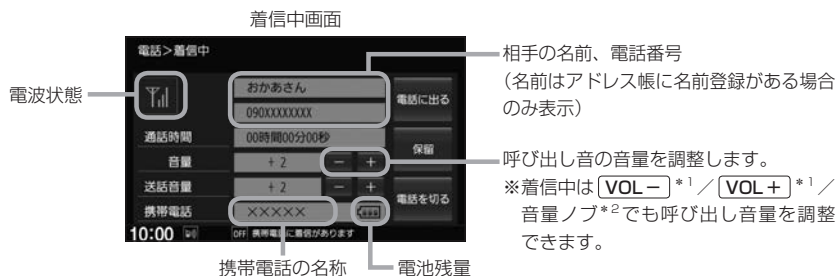
使用シーン例	発話例
翌日以降の天気が知りたい	「明日の天気」「週間天気」
音声ガイドをもう一度聞きたいとき	「もう一度」
言い間違いや、音声認識が間違って、やり直したいとき	「違う」「やり直し」「キャンセル」

ハンズフリーで電話する

※ハンズフリーで電話するには、あらかじめ携帯電話を本機とBLUETOOTH接続(図 G-2)しておく必要があります。

電話を受ける(着信時の操作)

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。



1 操作したいボタンを選んでタッチする。

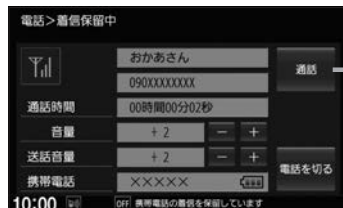
電話に出る

通話が開始され、通話中画面が表示されます。

保留

相手と電話につながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。

着信保留中画面



※着信保留を行うためには、携帯電話が着信保留に対応している必要があります。
(対応していない携帯電話ではメッセージが表示されます。)

※保留中も相手には通話料金がかかります。

電話を切る

かかってきた電話を応答せずに切ります。

お知らせ

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
 - 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。
 - 電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
- また、電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

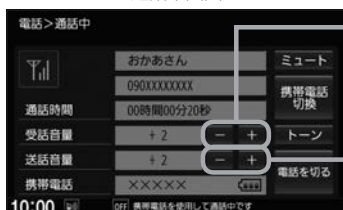
* 1... **VXM-185VFNI** **VXM-185VFEI** **VRM-185VFEI** **VXM-185VFI** **VRM-185VFI**

* 2... **VXU-185NBI**

通話中の操作

通話が始まると、通話中画面が表示されます。

通話中画面



相手の声の音量(受話音量)を調整します。

※通話中は **VOL-** *¹ / **VOL+** *¹ / 音量ノブ *² でも受話音量を調整できます。

相手に伝わる自分の声の音量(送話音量)を調整します。

1 操作したいボタンを選んでタッチする。

ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます。)※ミュートを行うと、 ミュート が 通話 に変わります。 通話 をタッチすると、自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話切替	ハンズフリーをやめて、携帯電話での通話に切り換えます。※携帯電話に切り換えると、 携帯電話切替 が ハンズフリー切替 に変わります。 ハンズフリー切替 をタッチすると、ハンズフリーでの通話に戻ります。
トーン	0 ~ 9 、 * 、 # が表示されるので、タッチするとトーン入力を行います。※走行中はトーン入力できません。
電話を切る	電話を切って通話を終了します。

お知らせ

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り換わらない場合があります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っている操作ができない場合があります。
- ハンズフリー音声出力中は、案内出力スピーカーの設定(「**設定**」D-18)で **右前** に設定していると右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となり、**左前** に設定していると左(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、右(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はオーディオの音量調整は無効となります。

通話中の地図画面表示について

- 通話中に **現在地** を押すと、地図画面が表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、**MENU** → **電話** をタッチしてください。

* 1... **VXM-185VFNI** **VXM-185VFEI** **VRM-185VFEI** **VXM-185VFI** **VRM-185VFI**

* 2... **VXU-185NBI**

ハンズフリーで電話する

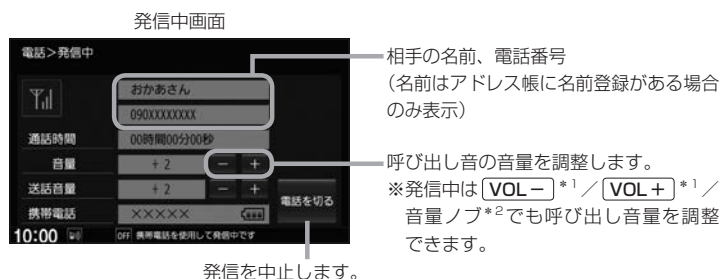
電話をかける

1 MENU → 電話 をタッチする。

2 電話をかける方法を選んでタッチする。

ダイヤル	0 ～ 9、*、# が表示されるので、 電話番号を入力して 発信 をタッチする。 ※ 36桁まで入力でき、画面には24桁まで表示します。
リダイヤル	前回電話をかけた番号に発信します。 メッセージを確認して、 はい をタッチする。 ※ 発信履歴が無い場合、 リダイヤル は選べません。
発信履歴 / 着信履歴	① 履歴リストが表示されるので、 電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 発信 をタッチする。
アドレス帳	① アドレス帳画面が表示されるので、 電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 番号1に発信 / 番号2に発信 を選んでタッチする。 ※ あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤル画面が表示されるので、 電話をかける先の 発信 を選んでタッチする。 ※ あらかじめワンタッチダイヤル画面で電話番号を登録しておく必要があります。[G-13]

電話をかけると、発信中画面が表示されます。



お知らせ

- 走行中は発信操作が制限されます。
- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
(例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります。)

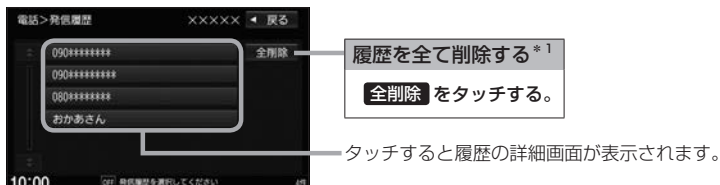
* 1... [VXM-185VFNI] [VXM-185VFEI] [VRM-185VFEI] [VXM-185VFI] [VRM-185VFI]

* 2... [VXU-185NBI]

発信履歴／着信履歴について

※表示するには、**MENU** → **電話** → **発信履歴**／**着信履歴** をタッチします。

履歴リスト画面



履歴を1つ選んで削除する

- ①履歴リスト画面で削除する履歴を選んでタッチする。
- ② **削除** をタッチする。

履歴詳細画面



* 1…発信履歴リスト画面で **全削除** をタッチした場合、発信履歴を全削除し、着信履歴は削除しません。
(発信履歴と着信履歴を両方同時には削除しません。)

お知らせ

- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名は表示されません。)
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

ハンズフリーで電話する

アドレス帳画面について

※表示するには、**MENU** → **電話** → **アドレス帳** をタッチします。

アドレス帳のリスト順序を **メモリ順** / **名前順** に切り換えができます。

※携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合や、本機に転送したアドレス帳に正しく50音に割り当てされない場合があります。

電話 > 名前使用

あ アックン
い いもうと
お おかあさん
お おとうさん
き 京都工場
た タクシー

あ か さ
た な は
ま や ら
わ その他

メモリ順 全削除

10:00

ひらがなリスト送り

メモリ順 をタッチ

名前順 をタッチ

電話 > メモリ番号使用

0000 おかあさん
0001 おとうさん
0002 いもうと
0003 アックン
0004 京都工場
0005 タクシー

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0 終了

名前順 全削除

10:00

全アドレスを削除する

全削除 をタッチする。

タッチしたメモリ番号のアドレスまでリスト送りします。

アドレスを1つ選んで削除する

- ① アドレス帳から削除するアドレスを選んでタッチする。
- ② **削除** をタッチする。

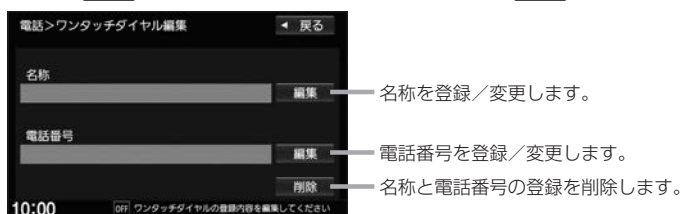


ワンタッチダイヤルについて

ワンタッチダイヤルは、あらかじめ電話番号を登録しておくことで、少ない操作回数で電話発信できる機能です。

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録する

- ① **MENU** → **電話** → **ワンタッチダイヤル** をタッチする。
⇒ワンタッチダイヤル画面が表示されます。
- ② 登録したい場所の **編集** を選んでタッチする。
- ③ “名称” の **編集** をタッチし、文字を入力して **決定** をタッチする。
- ④ “電話番号” の **編集** をタッチし、電話番号を入力して **決定** をタッチする。



車両のオーディオリモコンスイッチを使ってワンタッチダイヤルで電話発信する

※ステアリングリモコン設定(☞ H-33)でオフフック機能を設定しておく必要があります。

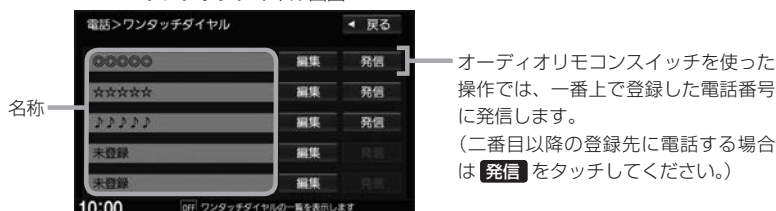
※「iPhone 接続時の利用機能」設定(☞ G-17)で **Apple CarPlay** を選んで Apple CarPlay 対応の iPhone を本機に接続している場合は、オーディオリモコンスイッチを使った発信はできません。

- ① オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。

⇒ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

- ② オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。

ワンタッチダイヤル画面



- ③ 発信確認のメッセージを確認して、
オーディオリモコンスイッチのオフフック機能キーを押す。
⇒発信を開始します。

ハンズフリーの通話設定をする

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **通話設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**－** / **＋** など)をタッチして設定する。

着信音量

着信時の呼び出し音の音量を **－** / **＋** で設定できます。

受話音量

通話中の相手の声の音量を **－** / **＋** で設定できます。

送話音量

通話中の相手に伝わる自分の声の音量を **－** / **＋** で設定できます。

ノイズキャンセル

相手が聞き取りやすくなるよう、マイクに入ったノイズ音(周囲の騒音など)を小さく抑えて送話する機能の **ON** / **OFF** を設定できます。

お知らせ

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話してください。
- ノイズキャンセルは、ノイズ(騒音)の種類によっては十分に抑えられない場合があります。
- 携帯電話(相手側を含む)によっては、ノイズキャンセルを **ON** にすると自分の声が途切れて相手にうまく伝わらない場合があります。この場合は、ノイズキャンセルを **OFF** にすると聞き取りやすくなる場合があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。

本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

1 携帯電話を本機と **BLUETOOTH** 接続する。  **G-2**

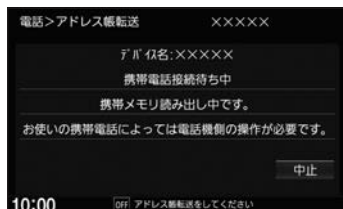
2 **MENU** → **電話** → **携帯メモリ読み出し** をタッチする。

お知らせ

- お使いの携帯電話の機種によっては、**携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。(この場合の転送は全件転送のみとなります。)この場合、 **G-15** 手順 **4** に進んでください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。
- **BLUETOOTH Audio** 機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できない場合があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

- 3** 携帯電話を操作して、転送したいアドレス帳を選んでデータ送信を開始させる。



お知らせ

アドレス帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。

追加保存 / **上書き保存** を選んでタッチしてください。

上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。



- 4** アドレス帳転送(読み出し)が完了したら、**終了** をタッチする。

お知らせ

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。(転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。)
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。
- 転送したアドレス帳を見たり、アドレスを削除するには **設定** G-12

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話によっては本機へアドレス帳を転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のエンジンスイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 転送中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前: 全角9文字まで/よみ: 半角18文字まで/電話番号: 36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。

Apple CarPlayを使う

Apple CarPlayを起動する

本機で Apple CarPlay が使用できる iPhone

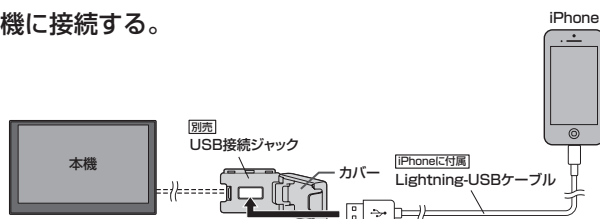
機種：iPhone 5/iPhone 5s/iPhone 5c/iPhone 6/iPhone 6 Plus/iPhone 6s/iPhone 6s Plus/iPhone SE/iPhone 7/iPhone 7 Plus

iPhone のソフトウェアを最新バージョンにしてお使いください。

適合情報は <http://www.honda.co.jp/navi/support/> をご確認ください。

※あらかじめ、“iPhone 接続時の利用機能”を **Apple CarPlay** に設定しておく必要があります。(図 G-17)
(初めて本機を起動したときに iPhone の機能選択画面で **Apple CarPlay** を選んでいる場合は、すでに **Apple CarPlay** に設定されています。)

1 iPhone を本機に接続する。



お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくは Honda 販売店にご確認ください。
- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。

2 **MENU** → **Apple CarPlay** をタッチする。

⇒ Apple CarPlay 画面が表示されます。

お知らせ

次の機能は Apple CarPlay 画面以外からでも起動できます。

Siri を起動する

AUDIO を長押しする。

Apple CarPlay のマップを起動する

現在地 を長押しする。

お知らせ

- 本機の設定で Apple CarPlay を使用する設定にしている場合、iPhone 側で使用しない設定にしている場合は Apple CarPlay は使用できません。iPhone 側でも Apple CarPlay を使用する設定にしてください。
- “iPhone 接続時の利用機能” を **Apple CarPlay** に設定して Apple CarPlay 対応の iPhone を本機に接続している間は、以下の動作となります。
 - ・ 全ての BLUETOOTH 接続が切断されます。
 - ・ 以下の機能は使用できません。
ハンズフリー電話 (Apple CarPlay の電話機能は可能)、ワンタッチダイヤル、音声認識 (Siri は可能)、NaviCon[®]、携帯電話のアドレス帳の転送、BLUETOOTH 接続に関する操作 (**LEG** G-2 ~ G-4)、SD 再生 (SD ソース)、BLUETOOTH Audio、iPod 再生 (iPod ソース)
※ iPhone の音楽再生は Apple CarPlay で行ってください。
※ ハンズフリー電話は Apple CarPlay の電話機能で行ってください。
- ・ **【現在地】** を押すと Apple CarPlay 使用中であっても、Apple CarPlay の地図画面の現在地ではなく、ナビゲーションの地図画面の現在地を表示します。**【AUDIO】** を押すと Apple CarPlay の状態によっては Apple CarPlay 画面を表示します。
- 走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- iPhone の電波状態が悪い場合、Apple CarPlay の動作が制限されることがあります。
- iPhone の状態によっては、Apple CarPlay の動作が制限されることがあります。
- Apple CarPlay は Apple 社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlay 連携機能設定をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **Apple CarPlay 連携機能設定** をタッチする。
- 2 各項目の設定ボタン (**Apple CarPlay** / **iPod** など) から選んでタッチする。

iPhone 接続時の利用機能

Apple CarPlay …… Apple CarPlay 対応の iPhone を USB 接続ジャックに接続したとき、Apple CarPlay を利用できる状態にします。

iPod …………… Apple CarPlay 対応の iPhone を USB 接続ジャックに接続したとき、iPod 再生機能 (iPod ソース) を利用できる状態にします。

※ 本設定を iPhone 接続中に行った場合、すぐには設定が有効になりません。iPhone を取り外して次に接続したときに有効になります。

ルート案内の音量

Apple CarPlay を使用してルート案内するときの案内音量を設定できます。

－ / **＋** …… 音量を下げたり上げたりします。

※ 消音中は調整できません。

消音 …………… 消音と消音解除を切り換えます。(表示灯点灯：消音、消灯：消音解除)

その他の機能と設定

VICS情報を見る	H-2
手動表示(文字情報／簡易図形情報を見る)	H-2
地図上表示	H-3
自動割り込み表示	H-3
FM多重放送(VICS受信)の選局をする	H-4
VICS情報の地図表示設定をする	H-5
ETC／ETC2.0の設定をする	H-6
ETCの設定をする	H-6
ETC2.0の設定をする	H-7
ETC情報を見る	H-7
ドライブレコーダーの操作・設定をする	H-8
録画について	H-8
録画した動画・静止画を再生する／削除する／	
保存フォルダへ移動する	H-9
その他の操作(現在の映像を表示・設定)	H-10
記念距離メモリー	H-12
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を	
表示する	H-14
フロントカメラ／コーナーカメラの	
設定をする	H-15
リアカメラ映像を表示する	H-16
リアカメラdeあんしんプラスを使用する	H-18
パーキングセンサー表示	H-20

フロントカメラ／コーナーカメラ／	
リアカメラについて	H-22
コーナーカメラ／リアカメラの	
ガイドライン表示について	H-22
マルチビューカメラの設定をする	H-23
走行軌跡を記録する	H-24
地点登録をする	H-25
internaviでSDカードに保存した地点を	
本機に登録する	H-25
自宅／登録地点の編集をする	H-26
自宅／登録地点を削除する	H-29
オプションボタンを設定する	H-29
キー操作音を設定する	H-30
セキュリティ機能を設定する	H-30
後席会話サポート機能を使う	H-31
オーディオリモコンスイッチを使う	H-32
オーディオリモコンスイッチの操作	H-32
ステアリングリモコン設定	H-33
画面の画質調整とサイズ切換をする	H-35
画面を消す	H-36
データを初期化(消去)する	H-37
本体情報を見る	H-37

VICS 情報を見る

本機は下記を利用した VICS 情報を受信することができます。

- ・ FM 多重放送 (FM 多重放送の選局が必要です。[F H-4])
- ・ ETC2.0 (別売の ETC2.0 車載器の接続が必要です。)

VICS 情報は情報内容によって表示方法が異なり、手動表示／地図上表示／自動割り込み表示で表示されます。

お知らせ

- 車のエンジンスイッチをロックに入れたり、FM 多重放送の受信周波数が変わると、受信した VICS 情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間が経過した場合、VICS 情報は消去されます。

手動表示(文字情報／簡易図形情報を見る)

1

MENU → 設定／情報 → 情報 → VICS をタッチする。

2

“FM VICS” の 文字情報 *1 / 図形情報 *1 / 緊急情報 *1、
“ETC2.0” の 受信情報 *2 から表示したいものを選んでタッチする。

*1…表示には FM 多重放送を選局して情報を受信する必要があります。

*2…表示には別売の ETC2.0 車載器で情報を受信する必要があります。

文字情報表示画面(例)



目次内容

目次選択ボタン

簡易図形情報表示画面(例)



目次画面に
戻ります。

ページを戻し／送ります。

ETC2.0 受信情報表示画面(例)



ページを戻し／送ります。

- 再生 : 音声情報を再生します。
 - 停止 : 音声情報再生を停止します。
- ※音声情報が無い場合、再生はできません。

お知らせ

手動表示の情報を表示中に緊急情報受信した場合は、自動的に緊急情報表示に切り換わります。この場合、自動的に
にはもとの画面に戻りませんので、もとの画面に戻すには再び上記の操作を行ってください。

地図上表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞などの情報が表示されます。

ボタンに表示の時刻は、
VICS 情報提供時刻です。
(":-:") のときは VICS 情報が未受信です)



VICS 渋滞情報

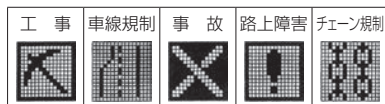
渋滞情報を矢印で表示します。

赤色：渋滞
橙色：混雑
緑色：順調

VICS マーク

規制などの情報をマークで表示します。

<マーク一例>



地図をスクロールさせて VICS マークに
カーソル(---)を合わせると、詳細情報が
表示されます。



黄色の線は規制範囲を示します。

お知らせ

- 情報が多い場合は、VICS 情報表示するまでに数秒かかることがあります。
- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によっては地図上表示できない場合があります。
- VICS 情報表示は、地図をスクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。

自動割り込み表示

ETC2.0の受信情報や緊急情報など VICS 情報には自動割り込み表示するものがあります。

割り込み表示画面(例)

ページを戻し／送りします。

再生 : 音声情報を再生します。

停止 : 音声情報再生を停止します。

※ 音声情報が無い場合、再生はできません。



お知らせ

再探索中など一部の場合で割り込み表示しないことがあります。

FM 多重放送(VICS 受信)の選局をする

VICS 情報を見るには、FM 多重放送で VICS 情報を提供している放送局を選局してください。

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **VICS** → **周波数設定** をタッチする。

2 選局方法を選んで選局する。



自動選局

自動で放送局をサーチして、選局する方法です。

自動選局 をタッチし、表示灯を点灯させる。

(表示灯点灯：自動選局に設定、消灯：自動選局解除)

※自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。

(放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります。)

※自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り換えます。

手動選局

受信周波数を手動で変更して選局する方法です。

+ / **-** をタッチして、周波数を変える。

※タッチするたびに 0.1 MHz ずつ変わります。

タッチし続けると始めは 0.1 MHz ずつ、その後 1 MHz ずつ変わります。

エリア選局

現在地周辺の放送局リストから選局する方法です。

① **エリア選局** をタッチする。

⇒ 放送局リストが表示されます。

② 放送局リストから選んでタッチする。

プリセット選局

あらかじめ本機にプリセット(登録)しておいた放送局をワンタッチで選局する方法です。

プリセットボタンから選局したい放送局を選んでタッチする。

お知らせ

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければ VICS 情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、VICS 情報は受信できない場合があります。

プリセットボタンに放送局を登録する

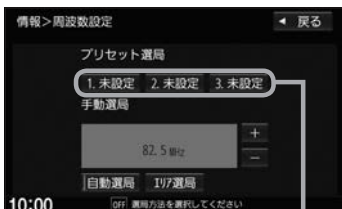
放送局を3局まで登録できます。

1 登録したい放送局を選局する。

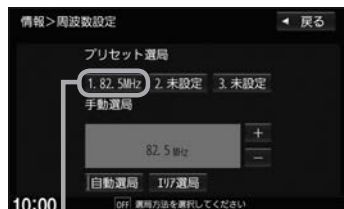
お知らせ

自動選局に設定している場合は解除してください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始め、登録する前に周波数が変わってしまう場合があります。

2 登録先のプリセットボタンを選んで長押しする。



プリセットボタン



選局中の放送局周波数が上書きで登録されます。

VICS情報の地図表示設定をする

1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 渋滞情報 → VICS表示設定 をタッチする。

2 表示設定したい項目を選んでタッチし、表示灯の点灯⇔消灯を切り換えて設定する。

※点灯：表示、消灯：表示しない



一般道 ……一般道路のVICS情報の表示／非表示
有料道 ……有料道路のVICS情報の表示／非表示
※表示灯を点灯させると、下記の **規制** / **点滅** / **駐車場** / **渋滞無し** / **渋滞混雑** の表示設定に従ってVICS情報表示をします。

規制 ……規制情報の表示／非表示
点滅 ……渋滞情報などを示す矢印表示を点滅させる／させない
駐車場 ……駐車場情報の表示／非表示
渋滞無し ……渋滞情報のうち<緑色：順調>について表示／非表示
渋滞混雑 ……渋滞情報のうち<赤色：渋滞>と<橙色：混雑>について表示／非表示

その他の
設定能

ETC / ETC2.0の設定をする

必ず、ETCシステム利用規定などをお読みください

- ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- 利用規定などは、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。

ETCの設定をする

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)またはETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETCの設定を行うことができます。

1 **[MENU]** → **設定／情報** → **システム設定** → **ETC設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

カード挿入アイコン表示

ETCカードを挿入中、本機の情報バーにアイコン表示を **する** / **しない** を設定できます。

ETC : カード挿入アイコン

ETC : カードの期限切れ、カードエラー、車載器エラー

本体ブザー音

ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせを **する** / **しない** を設定できます。

※標準装備のETC車載器を接続している場合は設定できません。

音声案内

本機でETC利用料金などを音声案内 **する** / **しない** を設定できます。

※利用料金などの音声案内は、画面の表示と異なる場合があります。

カード入れ忘れ警告

本機を起動したときETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせ **する** / **しない** を設定できます。

カード有効期限案内

ETCカードの有効期限まで2か月以下の場合、音声とメッセージ画面でお知らせ **する** / **しない** を設定できます。

※本機起動中にETCカードを挿入したとき、もしくは挿入した状態で本機を起動したときにお知らせします。

※ETCカードの有効期限が切れている場合は、**しない** に設定してもお知らせします。

表示割り込み時間

5秒 **10秒** **15秒** **30秒** … ETC関連のお知らせがあった場合、設定した時間だけ割り込み表示してお知らせします。

しない …………… 割り込み表示しません。(ただし、料金所通過時と料金支払時は表示します。)

ETC2.0の設定をする

ETC2.0車載器を接続している場合は、ETC2.0の交通情報サービスを利用したり、ETC2.0の設定を行うことができます。

1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **渋滞情報** → **ETC2.0設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない**)を選んでタッチする。

ETC2.0受信音

ETC2.0で情報を受信すると音を鳴らす(**する**) / 鳴らさない(**しない**)を設定できます。

※ **しない** に設定していても、重要な情報(注意や警戒を喚起する情報など)の場合は受信音が鳴ります。

ETC2.0割込み

ETC2.0で自動割り込み表示する情報を受信したとき、割り込み表示を **する** / **しない** を設定できます。

※ **しない** に設定していても、重要な情報(注意や警戒を喚起する情報など)の場合は割り込み表示します。

ETC2.0音声自動再生

ETC2.0で音声情報がある情報を受信した場合、音声の自動再生を **する** / **しない** を設定できます。

ETC2.0アップリンク

本機およびETC2.0車載器で収集した情報を、路側機へ自動的に送信 **する** / **しない** を設定できます。

※走行開始地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。

送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

※路側機とは、情報を配信するため道路に設置された無線基地局のことです。

その他の
設定
定

ETC情報を見る

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)またはETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETC情報(利用履歴など)を見ることができます。

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ETC情報** をタッチする。

2 表示したい情報を選んでタッチする。

— お知らせ —

- **カード情報** / **利用履歴** はETCカード挿入時にタッチできます。
- **利用履歴** では、ETCの利用履歴を新しいものから最大100件まで確認できます。



ドライブレコーダーの操作・設定をする

別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作詳細については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

[H-9～H-11]の操作をするときに**ドライブレコーダー**をタッチすると、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、**現在地**などを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画について

● 常時録画と手動録画

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリ、またはONに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。 ^{*1} (常時録画の動画は古い順に自動削除 ^{*2} されます。)
手動録画	ナビゲーションを操作して録画を行います。(手動録画した動画は自動削除されません。)

- *1…ドライブレコーダーの再生中(記念距離メモリーの映像記録の表示中を含む)や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。(録画中／録画停止中は情報バーに表示されるマークでご確認ください)
- *2…録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDHCメモリーカードの空き容量が少なくなると、常時録画された動画ファイルを録画日の古い順に自動削除します。(急加速／急減速を検出した記録がある動画ファイルは自動削除されません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速／急減速を新たに検出した場合は、古い順に自動削除する場合があります。)

- ドライブレコーダーで静止画撮影することができます。
- 録画された動画／静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDHCメモリーカードに保存します。なお、動画は1分間ずつを1ファイルにして保存します。

お知らせ

情報バー表示について

情報バーに以下のマークが表示されます。

-  : 常時録画中
-  : 手動録画中(マークの中心が赤色)
-  : 録画停止中

常時録画中の場合(例)



マーク

手動録画する

- 1  (オプションボタン)を長押しする。

⇒手動録画が開始されます。

お知らせ

手動録画を停止するには、再度、 (オプションボタン)を長押ししてください。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

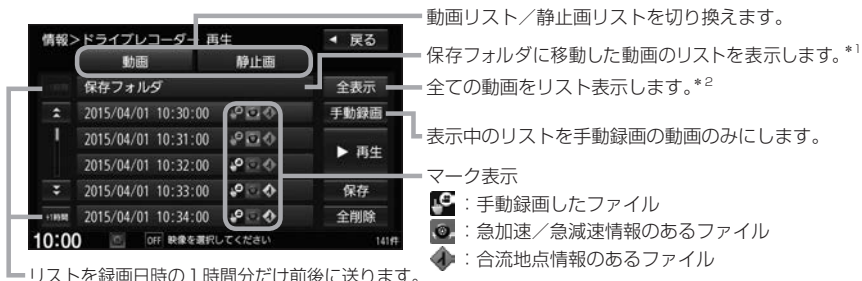
※あらかじめQUICKメニューに**静止画撮影**(ドライブレコーダー静止画撮影)を設定しておく必要があります。

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** → **静止画撮影** をタッチする。

録画した動画・静止画を再生する／削除する／保存フォルダへ移動する

再生する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **再生** をタッチする。
- 2 リストから再生したい動画／静止画を選んでタッチし、**▶再生** をタッチする。



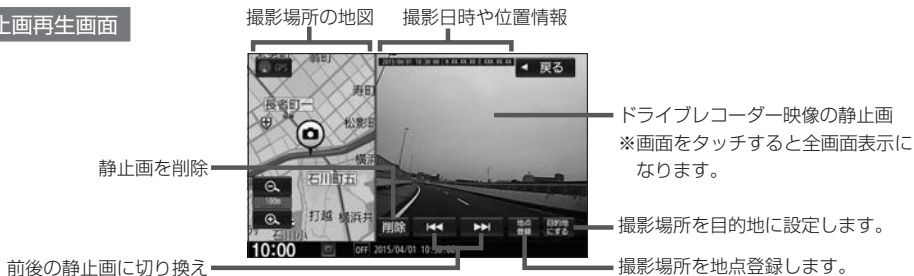
* 1… **保存フォルダ** をタッチした後に動画リストに戻るには **戻る** をタッチしてください。

* 2…動画リストのときは保存フォルダに移動したものを除く全ての動画を、保存フォルダの動画リストのときは保存フォルダ内の全ての動画を表示します。

動画再生画面



静止画再生画面



お知らせ

動画再生画面／静止画再生画面について

- 表示更新は約1秒間に1回のため、実際の車の走行速度や加速／減速レベルとは異なる場合があります。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報(加速／減速レベルなど)や **目的地にする** ボタンが非表示になることがあります。

ドライブレコーダーの操作・設定をする

削除する

1 下表の操作を行う。

動画または静止画を 全て削除する	① 「再生する」(H-9)の手順 2 で 動画 / 静止画 を選んで タッチする。 ② 全削除 をタッチする。 ※上記の操作では、保存フォルダのファイルは削除されません。保存フォルダのファイルを全て削除するには、「再生する」H-9の手順 2 で 保存フォルダ → 全削除 をタッチしてください。
1つ選んで削除する	① 削除したい動画／静止画を再生する。 ② 再生画面で 削除 をタッチする。

保存フォルダへ移動する

※保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。

※保存フォルダへ移動した動画は自動削除されなくなります。

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **再生** をタッチする。

2 リストから移動したい動画を選んでタッチし、**保存** をタッチする。

その他の操作(現在の映像を表示・設定)

ドライブレコーダーの現在の映像を本機に表示する

※走行中は映像を表示しません。

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **カメラモニター** をタッチする。

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを初期化する

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **設定** をタッチする。

2 “SDカードの初期化” の **初期化する** をタッチする。

※初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。

ドライブレコーダーの設定をする

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** ／ **しない** など)を選んでタッチする。

画質

録画の画質を **高画質** ／ **標準** から設定できます。

※録画 1 分間のファイルサイズ… **高画質** : 約 58 MB、 **標準** : 約 9 MB

音声録音

動画を録画時に音声録音も **する** ／ **しない** を設定できます。

手動録画の自動停止

手動録画を開始後、自動停止する時間を **1分** ／ **3分** から設定できます。

また、**自動停止しない** を設定することもできます。

動画情報表示

急加速・急減速 の表示灯を点灯させると、動画を再生中、急加速または急減速を行ったシーンで表示が現れます。

合流地点 の表示灯を点灯させると、動画を再生中、高速道路の合流地点のシーンで表示が現れます。

感度設定

◀ / ▶ をタッチしてドライブレコーダーの急加速・急減速の検知感度を調整できます。

※感度を高く設定するほど(小さい加速でも)急加速だと判定されやすくなります。

ブザー音

ドライブレコーダーのブザー音を鳴らす(**する**)／鳴らさない(**しない**)を設定できます。

お知らせ

- ドライブレコーダーの合流地点に関する機能が有効になるためには、録画するときに本機で合流地点の音声案内がされている必要があります。
- 設定を初期化するには、“設定初期化”の **初期化する** をタッチしてください。

記念距離メモリー

車の総走行距離が所定の距離(例：7777 km、10000 kmなど)に達したとき、そのときの日時・場所を自動記録します。さらに、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)を接続している場合は、ドライブレコーダーの映像を静止画で自動記録します。

※車両の装備やグレードが記念距離メモリー機能に対応している必要があります。[図] A-12

記念距離メモリー画面(例)



記念距離メモリー画面(別売のドライブレコーダーの映像記録がある場合の例)



- * 1…位置情報や走行速度は記録できない場合があります。その場合は表示されません。ドライブレコーダーの映像記録があり位置情報の記録が無い場合は、映像の全画面表示になります。
- * 2…SDカードを本機に挿入しておく必要があります。画像ファイルはSDカード内の“PRIVATE”フォルダにビットマップ形式で保存されます。
- * 3…ドライブレコーダー映像の記録は、所定の総走行距離に達したとき約10秒おきに6枚記録します。

保存した画像ファイルは個人で楽しむ目的以外(商用利用や事故時の証拠資料など)に使用しないでください。

お知らせ

- 本機の起動中に所定の総走行距離に到達した場合、日時・位置・速度が正常に記録されない場合があります。
- 別売のドライブレコーダーが録画停止中(本機でドライブレコーダー設定や再生、記念距離メモリーを表示しているときなど)に所定の総走行距離に到達した場合、映像の記録はできません。また、映像記録の途中で車のエンジンスイッチを変更した場合など、映像の記録ができない場合があります。
- 記念距離メモリーは手動では記録できません。

記念距離メモリーを表示する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **記念距離メモリー表示** をタッチする。
- 2 表示したいものをリストから選んでタッチし、**詳細** をタッチする。

⇒ 記念距離メモリー画面が表示されます。

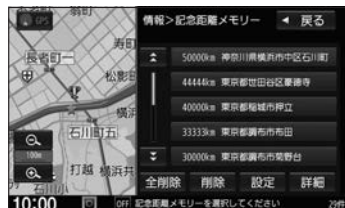
お知らせ

詳細 をタッチ後、ドライブレコーダー映像が表示された場合、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、**現在地** などを押して記念距離メモリー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

記念距離メモリーの記録を削除する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **記念距離メモリー表示** をタッチする。
- 2 下表の操作を行う。

全て削除する	全削除 をタッチする。
1つ選んで削除する	① リストから削除したいものを選んでタッチする。 ② 削除 をタッチする。



お知らせ

所定の総走行距離に達した直後に記録を削除すると、再度記録されてしまうことがあります。その場合は総走行距離が増えるまで移動してから削除をしてください。

記念距離メモリーを設定する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **記念距離メモリー表示** → **設定** をタッチする。
- 2 各項目の **する** / **しない** をタッチする。

記念距離メモリー

記念距離メモリーによる自動記録を **する** / **しない** を設定できます。

間もなくお知らせ

車の総走行距離が自動記録を行う所定の距離に近づいてきたとき、お知らせを **する** / **しない** を設定できます。

※ “記念距離メモリー” を **する** に設定している場合のみ設定可能です。

※ 所定の総走行距離まであと 10 km 程度になると、数回お知らせを行います。

フロントカメラ／コーナークメラ映像を表示する

別売の各カメラの接続が必要です。またカメラ映像表示への切り換え操作には、オプションボタンの設定が必要です。[H-29]

(各カメラについて詳しくは、別売のフロントカメラ／コーナークメラの取扱説明書をご覧ください)

1 (オプションボタン)を押す。

⇒カメラ映像に切り換わります。

※もとの画面に戻したいときは、再度 (オプションボタン) を押してください。

お知らせ

- カメラ映像は低速走行時のみ切り換えることができます。
- 高速走行時に (オプションボタン) を押した場合、低速走行になってからカメラ映像に切り換わります。(ただし、低速になる前に2度目の (オプションボタン) を押す操作をした場合は、カメラ映像の切り換えがキャンセルされます。)

コーナークメラ映像画面(例)

タッチすると、下記のボタンが表示されます

ガイドライン表示ON

: ON⇔OFFが切り換わります。

決定

: ガイドライン表示設定を終了します。



ノーマルビューボタン

トップダウンビューボタン

※ **ガイドライン表示設定** は、カメラ映像をタッチすると表示されます。

コーナークメラのビューを切り換える

※コーナークメラ(2ビュー)接続時のみ

- 1 切り換えたい方のボタン(ノーマルビューボタン／トップダウンビューボタン)をタッチする。

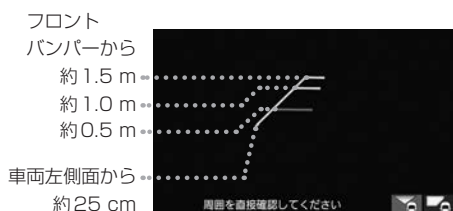
ガイドラインの表示／非表示を切り換える

※フロントカメラではガイドライン表示をしません。

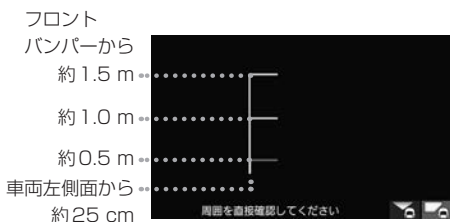
- 1 カメラ映像をタッチし、 **ガイドライン表示設定** をタッチする。
- 2 **ガイドライン表示ON** ／ **ガイドライン表示OFF** をタッチする。
- 3 **決定** をタッチする。

コーナーカメラのガイドラインの見かた

ノーマルビューの場合



トップダウンビューの場合



※トップダウンビューはコーナーカメラ(2ビュー)接続時のみ表示可能なビューです。

- コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。あくまで運転の補助手段とし、直接目で安全確認しながら運転してください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする

1

MENU → **設定／情報** → **システム設定** →

フロントカメラ設定 または **コーナーカメラ設定** をタッチする。

2

各項目の設定ボタン(**する** / **しない**)をタッチする。

フロントカメラ自動表示 **コーナーカメラ自動表示**

- する** …… 車が低速走行になると、自動的にカメラ映像を表示する
- しない** …… 自動的にカメラ映像を表示しない

登録地点検知

- する** …… カメラ地点(カメラ映像の自動切換設定がされている登録地点)に近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する
- ※低速で走行していない場合は表示しません。
- しない** …… 自動的にカメラ映像を表示しない

カメラインジケータ表示

情報バーに  アイコンを表示するかどうか設定できます。

- する** …… カメラが接続されていることを  アイコンで表示する
- ※アイコンが緑色：一定以下の速度でカメラ自動表示する
- アイコンが灰色：カメラ自動表示しない
- しない** ……  アイコンを表示しない

その他の
機能
設定

リアカメラ映像を表示する

標準装備または別売のリアカメラの接続が必要です。

(リアカメラについて詳しくは、標準装備または別売のリアカメラの取扱説明書をご覧ください)

1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

⇒カメラ映像に切り換わります。

※リバース以外に入れると、もとの画面に戻ります。

タッチすると、下記のボタンが表示されます

ガイドライン表示ON

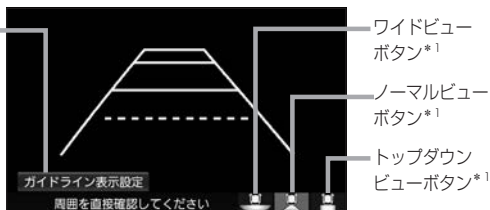
: ON⇔OFFが切り換わります。

ダイナミックガイドラインON^{*2}

: ON⇔OFFが切り換わります。

決定

: ガイドライン表示設定を終了します。



※ **ガイドライン表示設定** は、カメラ映像をタッチすると表示されます。

リアカメラのビューを切り換える^{*1}

- 1 切り換えたいビューのボタン(ワイドビューボタン／ノーマルビューボタン／トップダウンビューボタン)をタッチする。

ガイドラインの表示／非表示を切り換える

- 1 カメラ映像をタッチし、**ガイドライン表示設定** をタッチする。
- 2 **ガイドライン表示ON** ／ **ガイドライン表示OFF** をタッチする。
- 3 **決定** をタッチする。

ダイナミックガイドラインの表示／非表示を切り換える^{*2}

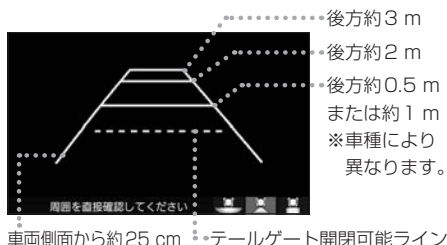
- 1 カメラ映像をタッチし、**ガイドライン表示設定** をタッチする。
- 2 **ダイナミックガイドラインON** ／ **ダイナミックガイドラインOFF** をタッチする。
※ガイドラインを表示している必要があります。
※トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。
- 3 **決定** をタッチする。

* 1…ビュー切り換えは、リアワイドカメラを接続している場合のみ可能です。

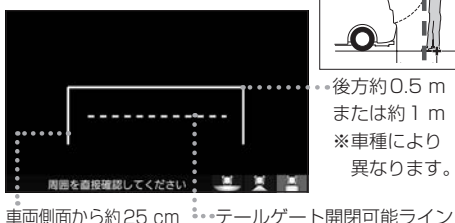
* 2…車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。[図] A-12

ガイドラインの見かた

ノーマルビューおよびワイドビューの場合



トップダウンビューの場合



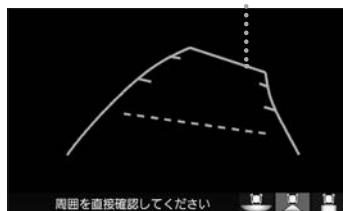
テールゲート
開閉可能ライン



ダイナミックガイドラインについて

ハンドルを大きく切ったとき、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインです。※ハンドル角度にあわせてラインの向きが変わります。

ダイナミックガイドライン



リアカメラ次回表示ビューの設定について

リアワイドカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。

※前回トップダウンビューを見ている状態でリアカメラ映像を見終わって、次にリアカメラ映像に切り換えた場合のみ、設定したビューで表示します。

※リアカメラを見終わった後に本機の電源を切っておらず、かつ 10 km/h を超えた走行もしない場合は、設定通りには切り換わりません。

設定方法

- ① **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。
- ② “リアカメラ設定次回表示ビュー” の設定項目で次回表示したいビューのボタンを選んでタッチする。

- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラのビュー切り換えなど徐行であれば停車しなくても操作可能な場合がありますが、操作をするときは十分に周囲の安全を確認しながら行ってください。

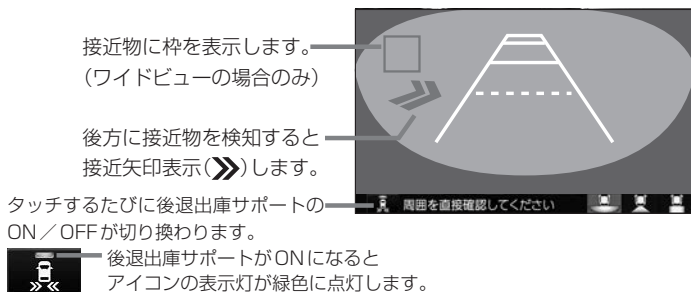
その他
の機能
設定

リアカメラ de あんしんプラスを使用する

リアカメラ de あんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットを接続すると、以下の機能を使用することができます。(詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラスの取扱説明書をご覧ください)

後退出庫サポート

駐車場などから後退出庫するときに、リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両等を検知し、運転者にお知らせする機能です。



後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせする機能です。

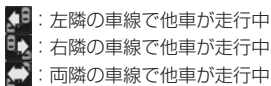
※走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告表示にはレベル低とレベル高があります。

警告レベル低



警報レベル低ではマーク表示で警告します。



警告レベル高



警報レベル高では警報音と画面表示で警告します。

※警報レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

車線キープサポート

車両の車線逸脱の可能性を検知すると、運転者にお知らせする機能です。

※走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。



警報音と画面表示で警告します。

後方死角サポート／車線キープサポートのアイコンについて

リアカメラの設定(設定 H-20)で、それぞれのサポート設定を **する** に設定している場合、地図画面／目的地メニュー画面／AUDIO メニュー画面／オーディオ画面(ラジオ・音楽再生画面のみ)で、それぞれのアイコンが表示されます。

アイコン



後方死角サポート
のアイコン



車線キープサポート
のアイコン

アイコンをタッチすると、サポート機能のON／OFFを切り換えることができます。

(ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色)

※緑色のアイコンに斜線が表示されているときは、ONにはなっていますが、走行速度が一定以下のため、警告をしない状態であることを示します。

お知らせ

リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作できません。水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。



汚れアイコン

お知らせ

後退駐車サポートについて

- このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って後退を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

後方死角サポートについて

- このシステムは隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを知らせ、運転者の車線変更の操作の際にサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 車線変更の際は、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車線キープサポートについて

- このシステムは走行車線から逸脱しそうなときに警報で注意を促すものであり、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨や霧などの視界不良を補助するためのシステムではありません。
- 常に周囲の状況を確認し、安全運転を心掛けて走行してください。

リアカメラ de あんしんプラスを使用する

リアカメラ de あんしんプラスの設定をする

1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** ／ **しない** など)をタッチする。

リアカメラ設定次回表示ビュー

H-17

後退出庫サポート

後方死角サポート

車線キープサポート

各サポート機能を使用 **する** ／ **しない** をそれぞれ選択できます。

運転支援警報音

後退出庫サポート・後方死角サポート・車線キープサポートの警報音の音量を **-** ／ **+** をタッチして設定できます。

パーキングセンサー表示

車両周囲の障害物をセンサーで検知すると、本機の画面で注意を促す表示を行います。(詳しくは、パーキングセンサーの取扱説明書*1をご覧ください。)

※標準装備または別売のパーキングセンサーの接続が必要です。

※車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

カメラ映像以外の画面のとき

障害物を検知すると、パーキングセンサー画面を割り込み表示して、その画面上に注意表示をします。

パーキングセンサー画面



車両前方の注意表示

(:左前方、:真ん中前方、:右前方)

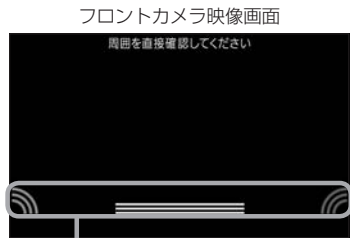
パーキングセンサー画面を消します。

* 1…標準装備のパーキングセンサーの場合は、車両の取扱説明書をご覧ください。

パーキングセンサー表示

カメラ映像(リアカメラなど)の画面のとき

障害物を検知すると、カメラ映像の画面上に注意表示をします。



車両前方の注意表示
(: 左前方、: 真ん中前方、: 右前方)



車両後方の注意表示
(: 左後方、: 真ん中後方、: 右後方)
車両前方の注意表示*1
(: 左前方、: 真ん中前方、: 右前方)

■ 障害物を検知したときの作動状態

ブザー音の間隔	障害物との距離 *2		インジケーター
	左前方、右前方、左後方、右後方	真ん中前方*3、真ん中後方*3	
長い	—	100 cm 付近	点滅(黄色)*4
短い	50 cm 付近	50 cm 付近	点滅(橙色)
非常に短い	40 cm 付近	40 cm 付近	
連続	30 cm 付近、 もしくはそれ未満	30 cm 付近、 もしくはそれ未満	点滅(赤色)

パーキングセンサーの設定をする

1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **パーキングセンサー設定** をタッチする。

2 **する** / **しない** をタッチする。

する ……カメラ映像以外の画面のときにパーキングセンサーで障害物を検知した場合、パーキングセンサー画面を割り込み表示します。

しない ……パーキングセンサー画面の割り込み表示をしません。

その他の機能設定

* 1…VXU-185NBiは車両前方の注意表示が、画面の左上に表示されます。
* 2…距離は車両により異なる場合があります。詳細については、パーキングセンサーの取扱説明書(標準装備の場合、車両の取扱説明書)をご確認ください。
* 3…車両により装備の無い場合があります。
* 4…このときは、真ん中前方センサーもしくは真ん中後方センサーのみが障害物を検知します。

フロントカメラ／コーナカメラ／リアカメラについて

- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイドラインは車幅や距離感覚を補うための目安です。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。)
- 夜間または暗所などの状況により、カメラの映像が見えない(または見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

コーナカメラ／リアカメラのガイドライン表示について

- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドラインの見かた(図 H-15、H-17)のガイドラインの距離は、車種によって異なります。
- ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときはガイドラインと実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

マルチビューカメラの設定をする

(VXM-185VFNI) (VXM-185VFI) のみ

マルチビューカメラシステム装備車の場合、本機でマルチビューカメラの設定を行うことができます。

1 MENU → 設定／情報 → システム設定 → マルチビューカメラ設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)をタッチする。

目安ガイド線表示

画面に目安ガイド線を表示 **する** / **しない** を設定できます。

予測ガイド線表示

画面に予測ガイド線を表示 **する** / **しない** を設定できます。

後退から前進時の自動表示

セレクトレバーをリバースからドライブに入れたとき、自動的にマルチビューカメラシステム前方画面を表示 **する** / **しない** を設定できます。

バック駐車時の通路幅

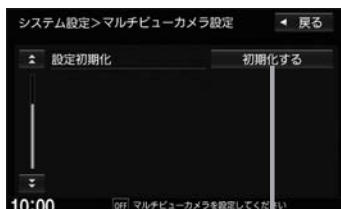
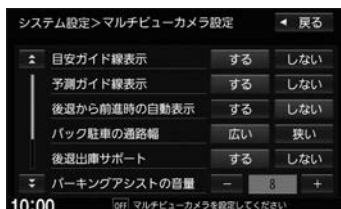
Honda スマートパーキングアシストシステムでバック駐車する際の通路幅設定を **広い** / **狭い** から選択できます。

後退出庫サポート

後退出庫サポート機能を使用 **する** / **しない** を選択できます。

パーキングアシストの音量

Honda スマートパーキングアシストシステムの音声ガイドの音量を **-** / **+** で設定できます。



マルチビューカメラの設定の全項目を初期化します。

お知らせ

マルチビューカメラシステム、Honda スマートパーキングアシストシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

その他の
機能
設定

走行軌跡を記録する

通った道にしるしを付けて記録し、通った道をあとで確認できます。

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **表示** をタッチし、“走行軌跡”の画面までページ送りする。

- 2 “走行軌跡”の画面で、走行軌跡の記録や表示の操作をする。



走行軌跡の記録を開始する

記録スタート をタッチする。

※記録をやめるには **記録ストップ** をタッチしてください。

走行軌跡の表示／非表示

軌跡表示 をタッチして表示灯の点灯⇄消灯を切り換える。

点灯：記録した走行軌跡を地図上に青い点で表示

消灯：走行軌跡を表示しない

※走行軌跡記録中は軌跡表示をやめることができません。

走行軌跡の記録を削除する

削除 をタッチする。

お知らせ

- 走行軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量を超えると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 走行軌跡の記録をやめ、再度記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- 走行軌跡の記録をやめても、やめるまでの走行軌跡の記録は残っています。走行軌跡の記録を削除するには **削除** をタッチしてください。
- 走行軌跡の記録が無い場合、または記録中は、**軌跡表示** / **削除** の操作ができません。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行中の操作はできません。

地点登録をする

地点を本機に登録できます。(最大300地点・自宅は含まれません。)

※地点を登録するとその地点を地図上にマーク表示できたり、その地点までのルート探索が簡単にできたりして便利です。

1 地図をスクロールして、登録したい地点にカーソル(—|—)を合わせる。

2 **設定** → **地点登録** をタッチする。

※フロントカメラ／コーナercameraを接続している場合はメッセージが表示されるので、どちらか選んでタッチしてください。

登録地点 : 通常の登録地点として登録

カメラ地点 : 近づくフロントカメラ／コーナercamera映像に切り換える地点として登録

お知らせ

QUICKメニューに **地点を登録** を設定している場合は、**地点を登録** をタッチして現在地を地点登録することができます。

internaviでSDカードに保存した地点を本機に登録する

1 地点を保存したSDカードを本機に入れる。

2 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **地点編集** → **SDカードから取り込み** をタッチする。

3 登録したい地点をタッチして✓印を付け、**登録** をタッチする。



4 フォルダリストから登録先のフォルダを選んでタッチする。

お知らせ

- 地点情報により、アラーム設定がされる場合もあります。
- 登録した地点を確認するには、「自宅／登録地点の編集をする」(P. H-26)を参考に登録地点リストや登録地点詳細画面を表示させて確認してください。

自宅／登録地点の編集をする

1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 地点編集 をタッチする。

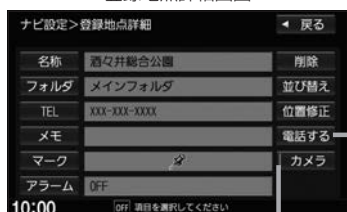
2 下表の操作をして、編集したい登録地点の登録地点詳細画面を表示させる。

自宅を編集	自宅編集 をタッチする。
登録地点を編集	① 登録地点編集 をタッチする。 ② リストから編集したい地点を選んでタッチする。 ※フォルダリストが表示された場合は、フォルダを選んでから、地点を選んでください。 登録地点リスト画面(例) ナビ設定＞登録地点編集 全削除 登録地点を全て削除 全表示 登録地点リスト表示に切り換え フォルダ フォルダリスト表示に切り換え 登録順 リストを登録順に並べ替え マーク順 リストをマーク順に並べ替え 10:00 OFF 登録地点を編集してください 登録地点リスト／フォルダリスト ※ 全削除／登録順／マーク順 はリスト表示が登録地点リスト(全表示 をタッチ時)の場合のみ表示されます。

3 編集したい項目のボタンをタッチして編集をする。

※編集項目と各項目の操作は以降の「登録地点の各編集項目について」を参照してください。

登録地点詳細画面



電話番号が登録されていると、**電話する**が表示されます。ハンズフリーで電話ができる状態で **電話する** をタッチすると、登録した番号に電話発信できます。

表示灯

登録地点の各編集項目について

カメラ映像の自動切換設定

※別売のフロントカメラ／コーナークメラを接続している場合のみ設定可能です。

①登録地点詳細画面で **カメラ** をタッチする。

② **カメラ地点** をタッチして、表示灯を切り換える。

※タッチするたびに点灯⇄消灯します。

点灯：カメラ地点*1 に設定する、消灯：カメラ地点に設定しない

※1…カメラ地点に近づくると自動で別売のフロントカメラ／コーナークメラ映像に切り換わります。

位置の修正

- ①登録地点詳細画面で **位置修正** をタッチする。
- ②登録地点付近の地図画面になるので、
地図をスクロールしてカーソル(—|—)を新しい位置に合わせる。
- ③ **セット** をタッチする。

アラーム設定

設定した登録地点に近づくときアラーム音が鳴ります。

※音声案内の音量設定([音] D-10)で消音設定している場合は鳴りません。

※ルート案内中以外でも設定したアラーム音が鳴ります。

- ①登録地点詳細画面で **アラーム** をタッチする。

- ②アラーム音を選んでタッチする。

※アラーム音を鳴らさない場合は **OFF** を
タッチしてください。

- ③案内距離を選んでタッチする。

※選んだ距離まで登録地点に近づくとき、
アラーム音が鳴ります。



アラーム音を選びます。登録地点まで何mの所に近づくときアラームを鳴らすのか、その距離を選びます。

特定の方向から近づいたときのみアラーム音が鳴るように設定できます

- ① **進入角度** をタッチする。
- ②登録地点付近の地図画面になるので、矢印(↖/↗)をタッチして、
自車マーク(▲)の向きを調整する。
※調整した自車マークの向きで近づいたときのみアラームが鳴ります。
- ③ **セット** をタッチする。
※設定を解除するには **進入角度** をタッチして表示灯を消灯させてください。

地図に表示するマークを変更

※カメラ地点として登録されている登録地点や、カメラ映像の自動切替設定をしている登録地点は
マークの変更ができません。

登録地点詳細画面で **マーク** をタッチし、変更したいマークを選んでタッチする。

メモ書きを登録

- ①登録地点詳細画面で **メモ** をタッチする。
- ②文字入力して、**決定** をタッチする。

電話番号を登録

- ①登録地点詳細画面で **TEL** をタッチする。
- ②電話番号を入力して、**決定** をタッチする。

自宅／登録地点の編集をする

登録地点の名称を変更

- ①登録地点詳細画面で **名称** をタッチする。
- ②名称を文字入力して、**決定** をタッチする。

登録地点リスト並び替え

登録地点リスト(登録順で表示したとき)の並び順を変更できます。

※各登録地点ごとにリストの何番目に移動するか指定して並び替えます。

※自宅は登録地点リストに表示されないため、並び替えはできません。

- ①各地点の登録地点詳細画面で **並び替え** をタッチする。

※登録地点が1個しか無い場合は **並び替え** は表示されません。

- ②移動先の **挿入** を選んでタッチする。

お知らせ

全ての登録地点を表示している場合は全登録地点で並び替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内で並び替えをします。

フォルダに入れる／別のフォルダに移動する

登録地点はフォルダに分けることができます。

※自宅をフォルダに入れることはできません。

- ①登録地点詳細画面で **フォルダ** をタッチする。
- ②フォルダリストから登録地点を入れるフォルダを選んでタッチする。

登録地点用フォルダのフォルダ名を変更できます

※メインフォルダはフォルダ名を変更できません。

- ① **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **地点編集** → **フォルダ名編集** をタッチする。
- ②フォルダリストから名前を変更したいフォルダを選んでタッチする。
- ③フォルダ名を文字入力して、**決定** をタッチする。

自宅／登録地点を削除する

1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 地点編集 をタッチする。

2 下表の操作をする。

自宅を削除	① 自宅編集 をタッチする。 ② 削除 をタッチする。
登録地点を1つ削除	① 登録地点編集 をタッチする。 ② リストから削除したい地点を選んでタッチする。 ③ 削除 をタッチする。
登録地点を全て削除	① 登録地点編集 をタッチする。 ② 全削除 をタッチする。

オプションボタンを設定する

本機の  (オプションボタン) によく使う機能をひとつ選んで設定することができます。
設定すると  を押して、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1 MENU → 設定／情報 → システム設定 → オプションボタン をタッチする。

2 オプションボタンに設定する機能を選んでタッチする。

自宅	現在地表示のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示のとき、右画面地図を表示します。
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除します。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇄夜用を切り換えます。
後席会話開始／停止	後席会話サポート機能を開始／停止します。
フロントカメラ切換／ コーナーカメラ切換／ マルチビューカメラ切換	フロントカメラ／コーナーカメラ／マルチビューカメラを本機に接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーを本機に接続している場合、静止画撮影を行います。

その他の
設定機能

お知らせ

フロントカメラ／コーナーカメラを本機に接続した直後は、オプションボタンの設定が自動的に フロントカメラ切換／コーナーカメラ切換 へ変更されます。

キー操作音を設定する

標準キーを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに鳴る操作音を設定できます。

1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **その他設定** → **キー操作音** をタッチする。

2 **操作音 1** ／ **操作音 2** ／ **OFF** から選んでタッチする。

※ **OFF** を選ぶと、操作音が鳴らないように設定されます。

セキュリティ機能を設定する

1 **MENU** → **設定／情報** → **セキュリティ設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** ／ **しない**)を選んでタッチする。

セキュリティ設定

本機をバッテリーから外して再び接続したときに、セキュリティコードを入力しないと本機を起動できないように **する** ／ **しない** を設定できます。

※車両やグレードによっては、フレームNo.を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。
(この場合、セキュリティコードの入力は不要です。)

セキュリティインジケータ

本機の電源を切ったときに、インジケータが点滅するように **する** ／ **しない** を設定できます。

※“セキュリティ設定”を **する** に設定している場合のみ設定できます。

盗難多発地点音声案内

盗難多発地点の音声案内を **する** ／ **しない** を設定できます。

※盗難多発地点付近を目的地に設定したとき、メッセージと音声でお知らせします。

※盗難多発地点付近で本機の電源を切ったとき、音声でお知らせします。

※自宅に設定した場所付近の盗難多発地点については、お知らせを行いません。

盗難多発地点表示案内

盗難多発地点を地図画面にマーク()表示 **する** ／ **しない** を設定できます。

※マークは盗難の危険が高い順に赤色→黄色→青色で表示します。(地域により基準は異なります。)

※縮尺 200 m 以下の地図で表示します。

市街地図での盗難多発地点表示案内

盗難多発地点を市街地図画面にマーク表示 **する** ／ **しない** を設定できます。

※“盗難多発地点 表示案内”を **する** に設定している場合のみ設定できます。

お知らせ

盗難多発地点は岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。

後席会話サポート機能を使う

本機のマイクに向かって発話した声を後席スピーカーで出力させることができます。

※後席の人の声を前席スピーカーに出力させることはできません。

※後席会話サポート機能を使用中は、オーディオの音量がしぼられます。

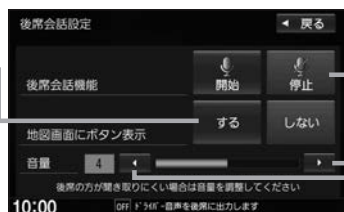
1 **MENU** → **後席会話** をタッチする。

2 “後席会話機能” の **開始** をタッチする。

3 本機のマイクに向かって発話する。

地図画面に後席会話ボタン()を表示します。(右画面表示している地図画面では、ボタンは表示されません。)

後席会話ボタンをタッチすると後席会話サポート機能の開始/停止が切り換わります。(開始/停止に合わせて表示灯が点灯/消灯します。)



後席会話サポート機能を停止します。

後席会話の音量を調整します。
(後席の方がマイクの声聞き取りにくい場合は、音量を調整してください。)

お知らせ

車内の環境によっては声にエコーがかかったような状態で聞こえる場合があります。

オーディオリモコンスイッチを使う

オーディオリモコンスイッチの操作

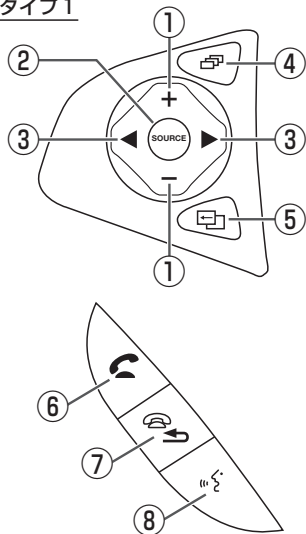
※オーディオリモコンスイッチは、本機で設定すると各ボタンの機能を変更できます。

(ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。)

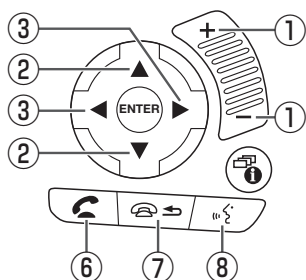
下記の操作説明はお買い上げ時の設定で動作する内容を説明しています。

イラストはイメージ図です。

タイプ1



タイプ2



※車両によってはデザイン、ボタンの個数が異なる場合があります。

① + / - ボタン

オーディオ音量／ハンズフリー着信・受話音量／音声案内音量を調整します。

※それぞれの音声の出力中、調整できます。

② SOURCE / ▲ / ▼ ボタン

- 再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。
- 長押しすると、Drive T@lkerを利用した音声認識、またはApple CarPlayでSiriを起動します。

③ ◀ / ▶ ボタン

- 音楽・ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。
 - 長押しするとフォルダを送ったり、戻したりします。
- ※CD(MP3 / WMA再生時のみ)、SDカード、USBメモリーで音楽を再生しているとき動作します。

④ 電話ボタン

地図画面／Apple CarPlay画面／オーディオ画面を切り換えます。

※場合によっては切り換わらないときがあります。

⑤ 設定ボタン

オプションボタン画面で設定した機能を動作させます。

⑥ 電話ボタン

ハンズフリー電話の場合

- ・ワンタッチダイヤルで電話発信します。
- ・長押しするとリダイヤルします。

Apple CarPlay の電話の場合

- ・着信中のとき電話に出ます。

⑦ 電話ボタン

ハンズフリーまたはApple CarPlay で通話中のとき、電話を切ります。

⑧ 音声認識ボタン

Drive T@lkerを利用した音声認識、またはApple CarPlayでSiriを起動します。

ステアリングリモコン設定

車両のオーディオリモコンスイッチについて、各ボタンの機能をそれぞれ設定することができます。

1 **[MENU]** → **設定／情報** → **システム設定** → **ステアリングリモコン** → **OK** をタッチする。
⇒ステアリングリモコン設定画面が表示されます。

2 設定するオーディオリモコンスイッチのボタンを長押しする。
⇒割り当て機能候補一覧が表示されます。

3 候補一覧からボタンに設定したい機能を選んでタッチし、**戻る** をタッチする。

4 **完了** をタッチする。

設定をお買い上げ時に
戻します。



現在各ボタンに設定
されている機能

お知らせ

- オーディオリモコンスイッチのボタンを押すと、押したボタンに該当する欄が青く表示されます。押しても青く表示されないボタンは設定できません。
- 本機の画面表示は、実際のオーディオリモコンスイッチとボタンの数やイラストなどが異なる場合があります。

ステアリングリモコン設定により、各ボタンに設定できる機能の候補は以下のとおりです。

※ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。

※ボタンに設定した機能が動作するにはBLUETOOTH接続などの準備が必要な場合があります。

POWER ON / OFF	オーディオ ON / OFF します。長押しすると画面を消します。
VOL +	オーディオ音量 / ハンズフリー着信・受話音量 / 音声案内音量を調整します。
VOL -	※それぞれの音声の出力中の間、調整できます。
CH UP	次の曲 / ファイルにスキップします。長押しすると次のフォルダの曲を再生します。
CH DOWN	前の曲 / ファイルにスキップします。長押しすると前のフォルダの曲を再生します。
SOURCE UP	再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。 ("SOURCE DOWN" は "SOURCE UP" と逆の順序でオーディオソースが切り換わります。)
SOURCE DOWN	長押しすると、Drive T@lker を利用した音声認識、または Apple CarPlay で Siri を起動します。
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除します。
現在地	現在地の地図を表示します。長押しすると Apple CarPlay のマップを起動します。

オーディオリモコンスイッチを使う

拡大	地図を拡大します。
縮小	地図を縮小します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
案内開始／停止	現在地の地図画面のとき、ルート案内を開始／停止します。
自宅に戻る	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。
リダイヤル	前回ハンズフリーで電話をかけた番号に発信します。
音声認識	Drive T@lkerを利用した音声認識、または Apple CarPlay で Siri を起動します。
オンフック	ハンズフリーまたは Apple CarPlay で通話中のとき、電話を切ります。
オフフック	ハンズフリーの電話の場合……ワンタッチダイヤル(☎ G-13)で電話発信します。長押しするとリダイヤルします。 Apple CarPlay の電話の場合…着信中のとき電話に出ます。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇄夜用を切り換えます。
時計 ON／OFF	オーディオ画面を全画面時計表示に切り換えます。☎ E-3
画面消し	画面を消して黒画面にします。☎ H-36
N／A画面切換	地図画面／Apple CarPlay 画面／オーディオ再生画面を切り換えます。 ※場合によっては切り換わらないときがあります。
右画面地図	現在地の地図画面のとき、右画面地図を表示します。
オプションボタンと同機能	オプションボタン設定で設定した機能を動作させます。
フロントカメラ切換	フロントカメラ／コーナークメラ／マルチビューカメラを本機に接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
コーナークメラ切換	
マルチビューカメラ切換	
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影します。
ドライブレコーダー録画 ON／OFF	ドライブレコーダーの手動録画を開始／停止します。
後席会話 開始／停止	後席会話サポート機能を開始／停止します。
割り当てなし	どの機能も設定しない場合は 割り当てなし を選んでください。

画面の画質調整とサイズ切換をする

※リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから調整を行ってください。

※各カメラ映像とオーディオソースの各映像画面については、各画面ごとに個別で調整できます。（一部、調整結果が互いに連動する画面があります。）

※走行中は調整できる項目が限られます。

画質調整をする

1 調整したい画面を表示させて、**MENU**を長押しする。

2 **画質調整**をタッチする。

※調整する画面によっては、**画質調整**のタッチは不要です。

3 調整項目を選んでタッチする。

※調整する画面によっては、調整項目が**明るさ**／**コントラスト**のみになります。



画面の明るさを切り換えます。

お買い上げ時の調整に戻します。

① **明るさ**／**コントラスト**／**色の濃さ**／**色合い**から選んでタッチする。

② ◀/▶をタッチして調整する。

明るさ……………◀：暗くなる／▶：明るくなる

コントラスト…◀：弱くなる／▶：強くなる

色の濃さ…………◀：淡くなる／▶：濃くなる

色合い……………◀：赤色を強く／▶：緑色を強く

ダイナミックガンマをタッチしてボタン表示灯の点灯／消灯を切り換える。（点灯：ON、消灯：OFF）

ダイナミックガンマは、自動的に色彩やコントラストを調整する機能です。

お知らせ

- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときで別々に設定できます。
- 画質調整画面の**昼夜切換**をタッチすると、「車のライトがONのときの明るさ」と「車のライトがOFFのときの明るさ」の切り換えを行います。車のライトをONにして画面が暗くなり見づらくなった場合などに、**昼夜切換**をタッチして画面の明るさを切り換えてください。

画面の画質調整とサイズ切換をする

表示サイズを切り換える

- 1** 表示サイズを切り換えたい画面を表示させて、**MENU** を長押しする。

※表示サイズ切り換えができない画面では、**MENU** を長押しすると画質調整画面が表示されます。

- 2** **ノーマル** / **フル** / **ワイド** / **シネマ** から選んでタッチする。

※TVソースの場合は **シネマ** を選べません。

ノーマル	映像を4:3で表示* ¹ ※16:9の映像は横方向に圧縮されます。
フル	映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示
ワイド	映像を16:9で表示* ¹ ※4:3の映像は横方向に引きのばして表示されます。
シネマ	ノーマル表示を上下左右方向に引きのばして表示 ※映像は上下が切れて表示されます。

画面を消す

画面を消して黒画面にすることができます。(音声はそのまま聞くことができます。)

- 1** **⏻***² / **音量ノブ***³ を長押しする。

※黒画面をもとに戻すには **⏻***² / **音量ノブ***³ を押してください。

お知らせ

- カメラ映像を表示する操作をしたり、カメラ映像の自動表示が作動した場合は、画面消し(黒画面)中でも、カメラ映像に自動的に切り換わります。
※カメラ映像が終了すると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- カメラ映像を表示している場合は、**⏻***² / **音量ノブ***³ を長押ししても画面を消すことはできません。

* 1…映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。

* 2… **VXM-185VFNI** **VXM-185VFEI** **VRM-185VFEI** **VXM-185VFI** **VRM-185VFI**

* 3… **VXU-185NBI**

データを初期化(消去)する

1 MENU → 設定／情報 → システム設定 → その他設定 → 初期化 をタッチする。

2 初期化したい項目を選んでタッチする。

※メッセージが表示されるので、画面に従ってください。

SDカードの初期化	SDカードのデータを初期化します。
登録データの初期化	登録データ・TV設定以外の設定内容・センサーおよびルートの学習結果を初期化します。* ¹ ※ Gracenote データベースは初期化しません。
センサー学習結果の初期化	自律航法に関する学習結果を初期化します。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果を初期化します。
入力履歴の初期化	名称検索などで行う文字入力履歴を初期化します。
TVの初期化	TVの設定内容を初期化します。
出荷状態に戻す	全ての登録データや設定内容などを初期化します。* ¹

* 1… 登録データの初期化 / 出荷状態に戻す では、SDカード内のデータ消去は行わないため、Music Rack の録音データは初期化されません。

- 初期化中は他の操作(ソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更したりなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、選択した項目は消去され、もとに戻せません。
※すでにデータが書き込まれているSDカードを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

お知らせ

- 録音データの初期化は [音 F-5、Gracenote データベースの初期化は [音 F-10 をご覧ください。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。
- 出荷状態に戻す をタッチしたときはオーディオがOFFになります。

その他の
設定能

本体情報を見る

1 MENU → 設定／情報 → 情報 → 本体情報 をタッチする。

→ 地図バージョン・シリアル番号が表示されます。

お知らせ

“地図バージョン”の 詳細 をタッチすると、地図データの詳細情報を表示します。

